



第4次那覇市 子どもの読書活動 推進計画

令和5（2023）年度～令和9（2027）年度



子どもが自主的に読書に親しみ、
感性を磨き、学ぶ楽しみや知る喜びを体得し、
“生きる力”を育むまち



令和5年4月
那覇市教育委員会

本市教育委員会では『郷土の歴史と文化を活かし、「あけもどろの都市・なは」を拓く人間性豊かな人材の育成をめざして教育を推進する』という教育理念を掲げ、教育施策の推進に努めております。

読書活動推進に関しては、平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、国は平成14年に、県は平成16年に子どもの読書活動推進計画を策定し、本市においては、平成18年に「那覇市子どもの読書活動推進計画（第1次計画）」を策定しました。以降、成果や課題を整理し、見直しを図りながら、平成25年には第2次計画、平成30年からは第3次計画に基づき、様々な取組を進めてまいりました。

このたび、こうした各種取組みの成果を検証するとともに、子どもたちがさらに読書に親しむことのできる環境づくりを進めるため、「第4次那覇市子どもの読書活動推進計画」を策定いたしました。

読書は、言葉を学び、豊かな感性や考える力を育み、幅広い知識を取得することができ、子どもの成長には欠かせない役割があります。読書で育んだ感性や、身に付けた知識で、コミュニケーションを円滑にしたり、人間関係の基礎を形成したりすることは、生涯にわたって「生きる力」となります。一方で、子どもが読書を身近に感じ、読む習慣を身に付けていくためには、家庭、地域、学校など社会が一体となって、読書の大切さを認識することが重要になります。

第4次計画では、家庭、地域、学校等、それぞれの役割や取組を掲げ、これからの未来を担う子どもたちの人間性を育めるよう、読書環境の充実、推進を図って参ります。市民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見をいただきました関係機関の皆様には、心から感謝申し上げます。

那覇市教育委員会
教育長 山城 良嗣

目 次

教育長あいさつ

はじめに 1

第1章 基本理念 4

第2章 基本方針 5

第4次那覇市子どもの読書活動推進計画の体系図 7

第3章 子どもの読書活動推進のための取り組み 8

1 家庭における子どもの読書活動の推進 8

2 地域における子どもの読書活動の推進 11

3 学校等における子どもの読書活動の推進 16

4 指標及びめざそう値一覧表 22

第4章 計画推進のしくみ 23

1 読書活動推進の取組の進捗管理と評価 23

2 計画の推進に向けて 25

資料編 26

はじめに

1 計画の策定にあたって

本市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づいて、平成 18（2006）年に那覇市子どもの読書活動推進計画（第 1 次計画）を策定して以降、平成 25（2013）年には第 2 次計画、平成 30（2018）年には第 3 次計画を策定し、様々な取組を実施してきました。

第 1 次計画期間では、取組の推進により、公立図書館での児童図書貸出冊数が約 9 千冊増加するなどの成果がありました。

第 2 次計画期間においても、保育園・幼稚園・小中学校において読書活動に関する職員研修の実施割合などが目標を達成したほか、市内の公立図書館全館において、Y・A（ヤング・アダルト）コーナーが設置されたことなど、様々な取組の推進が図られました。

第 3 次計画期間では、デジター図書（デジタル録音図書）^{*1}の本数や、公立図書館から学校図書館への本の貸出回数が目標の数を達成するなど、各機関での連携による取組も進んでいます。

本計画では、第 5 次那覇市総合計画との整合性を図り、これまでの取組や達成状況、社会情勢等の変化を踏まえ、あらゆる機会と、あらゆる場所において子どもが読書の楽しさに気づき、自ら進んで本を読みたくなるような環境を、社会全体で作りあげるため、読書活動推進への取組を示しています。

2 計画の期間

令和 5（2023）年度から令和 9（2027）年度までの 5 年間とします。

1 デジター図書（デジタル録音図書）：CD にデジタル録音した図書をデジタル録音図書という。デジタル録音図書の国際基準「Digital Accessible Information System」の頭文字をとって DAISY（デジター）図書と呼んでいる。

3 子どもの読書活動を取り巻く情勢の変化

本計画の策定にあたって、近年、子どもの読書活動推進を取り巻く環境は以下のような社会情勢の変化などがあります。

(1) 読書バリアフリー法などを踏まえた多様な読書のバリアフリーの取り組みの推進

「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」が令和元年6月に施行されました。この法律は、障がいの有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けることができる社会の実現を目的にした法律です。

また、視覚障がい者以外にも、日本語を母語としない子どもや外国籍児童生徒等への配慮も含め、積極的な読書環境の整備・充実が求められています。

(2) 情報通信手段の普及・多様化

近年のスマートフォンやタブレット等の情報メディアの普及や、それを活用した SNS 等の情報通信手段の多様化により、多様で膨大な情報が簡単に入手できるようになり、それらの利用に多くの時間を費やす子どもが増えています。

一方で、情報通信技術により、電子書籍をはじめとした読書も少しずつ広がりを見せています。これからは紙媒体とデジタルを有効活用した取組が求められています。

(3) 第6次学校図書館図書整備等5か年計画

国は、「学校図書館図書整備等5か年計画」を策定し、学校図書館図書標準^{※2}の達成に向けて取組を推進しています。「令和4年度からの5年間で、全ての公立小中学校等において、学校図書館図書標準の達成を目指すとともに、計画的な図書の更新、学校図書館への新聞の複数紙配備及び学校司書の配置拡充を図る」としています。

2 学校図書館図書標準：文部科学省の定める、学校規模（学級数）に応じた蔵書の整備目標。

(4) 持続可能な開発目標 (SDGs)

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、持続可能で多様性と包括性のある社会を実現するための 17 のゴールから構成され、「誰一人取り残さない (leave no one behind)」という理念に基づきながら、各施策に取り組むとともに、計画の推進が SDGs の達成に寄与することが求められます。



本計画に関わりの深いゴール
「4 質の高い教育をみんなに」

「子どもが自主的に読書に親しみ、感性を磨き、
学ぶ楽しみや知る喜びを体得し、“生きる力”を育むまち」

読書は子どもの成長にきわめて大切なものです。一冊の本との出会いが子どもたちの心の発達を支え、自分の考えを広げることができるようになります。

子どもは、読み聞かせや自ら読書を楽しむことを通して、感性を磨き、想像力を培い、言葉の理解や表現力、語彙力や創造力を体得します。それらは、子どもが自ら考え、課題に直面した時に解決する力を養うことにもつながり、ひいては一人ひとりが生きる力を身につけていくことになります。

一方で、近年、スマートフォン、インターネット等の情報通信手段の普及・多様化や社会環境の変化により、子どもたちの読書活動を取り巻く環境も大きく変化しています。

このような状況で、子どもたちの身の回りに本と出合う環境を作り、読書の楽しさや喜び、大切さを知る機会を設ける必要があります。

那覇市の子どもたちがあらゆる年代と多様な場において読書活動に親しむことができるよう、子どもの読書活動の推進にあたっては、5つの基本方針を設定し、その推進に取り組み、次代を担う子どもたちが読書を通して、学ぶ楽しさや知る喜びを体得できるようなまちを築いていきます。



第2章 基本方針

本市では第1章で定めた基本理念を実現していくため、次の基本方針のもと、子どもの読書活動の推進に取り組みます。

基本方針1 子どもの自主的な読書活動の推進

子どもたちは、読書を通じて読解力や想像力、思考力、表現力等の生きる基礎力を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができるようになります。特に、社会が急激に変化し、複雑化していく中で、個々人が読書活動等を通じて、生涯にわたって絶えず自発的に学ぼうとする習慣を身に付けていくことは大変重要です。

このような観点から、子どもが自ら読書に親しみ、進んで読書習慣を身に付けていけるよう、子どもの興味・関心を尊重しながら自主的な読書活動を推進していきます。

基本方針2 家庭、学校、地域を通じた社会全体での取組の推進

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、家庭、学校、地域及び関係団体のそれぞれが担うべき役割を果たすとともに、相互に緊密な連携・協力が行われるような体制の整備に努めます。

また、本市の子どもたちが、しまくとぅばに触れる機会をもち、あらゆる年代と多様な場において読書活動の幅を広げることができるよう、社会全体で推進していきます。

基本方針3 子どもが読書に親しむ機会の提供と諸条件の整備・充実

子どもが本と出合うことは、その後の人生において読書の習慣を形成するためにも大切なものとなります。

読書習慣の形成には、乳幼児期からの読書活動が重要であることを踏まえ、各発達段階や配慮の必要な子どもたちに応じた、読書環境の整備等の充実に努める必要があります。

第4次計画期間においても、興味、関心、発達等に応じた書籍等を置くスペースの確保等、より親しみやすい読書環境の整備・充実に努めます。

基本方針4 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

子どもが本と出会い、自主的な読書習慣を身に付けていく上で、特に、保護者、教員、保育士等子どもに身近な大人が読書活動に理解と関心を持つことが重要になります。

子どもの読書活動の大切さを十分理解した上で、各発達段階に応じ、乳幼児期には、読書を好きになり、読書習慣が形成されるように、学童期には、読書の関心や興味を引き出すように取り組みを推進する必要があります。

子どもを取り巻く大人を含めた社会全体で読書活動を推進する気運を一層高めるために、子どもの読書活動の意義や重要性について、市民へ理解を広め、関心を高めるよう啓発・広報に努めます。

基本方針5 人材の育成

子どもの読書に関わる職員は、子どもの読書活動の大切さに対する意識を持ち、子どもと本をつなぐ役割を担い、またボランティア等との連携など、子どもの読書活動を推進していく上で、重要な役割を担っています。

また、公立図書館や学校図書館の司書は、児童図書をはじめとする図書資料の選択・収集・提供、利用者に対する読書相談など、子どもが読書と深く結びつくために、必要な専門的知識・技術を習得する必要があります。

司書をはじめとする、子どもの読書に関わる職員へ、子どもの読書活動についてのスキルを磨くための研修の充実を図っていきます。



第4次那覇市子ども読書活動推進計画の体系図

基本理念

「子どもが自立的に読書に親しみ、感性を磨き、学ぶ楽しみや知る喜びを体得し、“生きる力”を育むまち」

基本方針

- 1 子どもが自立的な読書活動の推進
- 2 家庭、学校、地域を通じた社会全体での取組の推進
- 3 子どもが読書に親しむ機会の提供と諸案件の整備・充実
- 4 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及
- 5 人材の育成

●保護者が子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化を図るうえで積極的な役割を担う場

家庭

- 家庭に向けた取組
- ① 保護者等への理解の促進
 - ② ブックスタート事業の推進
 - ③ 公立図書館等の利用の促進
 - ④ 広報活動の充実
 - ⑤ 「家庭の日・ファミリー読書の日」の普及・奨励

地域

- 図書館・・・地域における読書活動を推進するうえで重要な役割を担う施設
- 図書館の取組
- ① 図書館専門職員研修の実施
 - ② 子どもの居場所等への読書環境の支援
 - ③ 広報活動の充実
 - ④ 障がいのある子どもへの配慮
 - ⑤ 図書館見学や職場体験の受入れの充実
 - ⑥ 学校図書館との連携
 - ⑦ 電子図書館等新たなサービスの充実
- 児童館・・・子どもが読書に親しむきっかけづくりの役割を担う施設
- 児童館の取組
- ① 乳幼児クラブ等への支援
 - ② 図書資料の充実
 - ③ 地域のボランティア等との連携の構築
- 公民館・・・子どもが読書に親しむきっかけづくりと地域への読書活動を普及する役割を担う施設
- 公民館の取組
- ① 読み聞かせ養成講座（入門編）修了生の活動支援
 - ② 読書活動の啓発

学校など

- 保育園・こども園・・・子どもが絵本や物語などに親しみ、読書の楽しさを知ることができるところを担う施設
- 保育園・こども園の取組
- ① 絵本の読み聞かせ、図書の精選等の充実
 - ② 保護者等への読み聞かせ等の普及活動の推進
 - ③ 読書環境の整備・充実
 - ④ 異年齢との関わりを広げる
 - ⑤ 保護者等との協力関係の充実
 - ⑥ 公立図書館との連携・協力
 - ⑦ 職員の資質向上
- 小学校・中学校・・・子どもの発達段階に応じて読書への興味・関心を高め、読書習慣を形成していく役割を担う施設
- 小学校・中学校の取組
- ① 読書活動推進計画の充実
 - ② 学校図書館機能を高めるための条件整備
 - ③ 障がいのある児童生徒への読書環境の工夫・充実
 - ④ 学校内外における読書活動の推進に関する研修の充実
 - ⑤ 「家庭の日・ファミリー読書の日」の普及・奨励
 - ⑥ 「しくもとらば」に触れる機会をもち、読書の幅を広げる

●子どもの読書活動推進のための取組●

第3章 子どもの読書活動推進のための取組

1 家庭における子どもの読書活動の推進

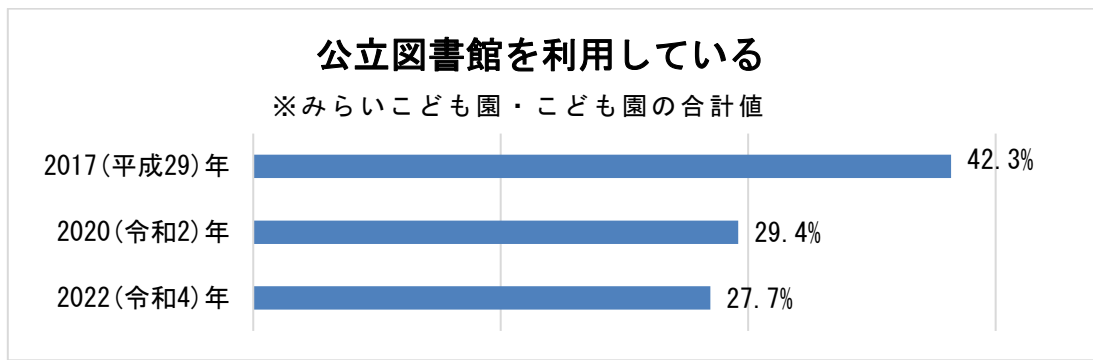
■家庭の役割

子どもが本に親しみ、読書活動に興味や関心を持つために、家庭は重要な役割を果たします。家庭における日々の生活において、子どもが読書をする習慣が定着するために、保護者は家庭での読書の時間の大切さを認識することが必要です。特に、乳幼児期からの読み聞かせは、読書の習慣を形成する上で、また、親子のコミュニケーションを深める上でもとても重要です。

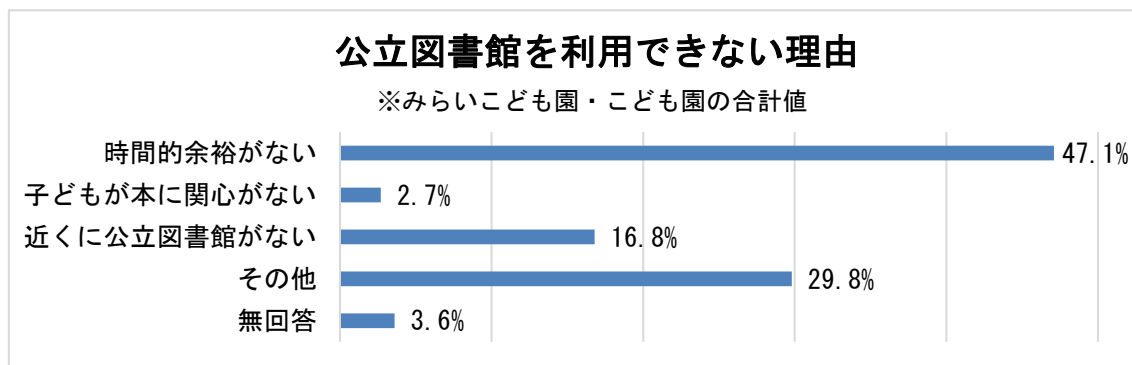
さらに、子どもの読書習慣づくりのために、家庭においては、保護者も読書に親しみ、家庭で読書の時間を共有したり、読み聞かせ会等に子どもと一緒に参加するなど、子どもが読書に親しむ機会を作ることが大切です。また、家庭内で、定期的な読書の時間を設けたり、読書を通じて子どもが感じたことや考えたことを話し合うなど、暮らしの中に自然と読書の時間が溶け込んでいるような環境づくりが大切になります。

■家庭の現状と課題

- ① 近年、社会生活の変化やインターネット・スマートフォン等の発達により、子どもたちの読書環境も大きく変化しています。このような状況で、子どもたちが多くの本と出会う機会をつくり、読書に親しめるような読書環境の充実を図る取組を行う必要があります。
- ② 子どもに読書の習慣を身につけさせるためには、大人が子どもの読書の意義や重要性について理解し、率先して読書に親しみ、家族ぐるみで読書する環境づくりを行うことが必要です。
- ③ 本市教育委員会が、平成29（2017）年、令和2（2020）年、令和4（2022）年に実施した「子どもの読書活動状況調査結果」（資料2参照）をみると、「お子さんのために公立図書館を利用している」と答えた割合は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、減少傾向で、3割程度に留まっています。



- ④ 「子どもの読書活動状況調査結果」(資料2参照)より、保護者が公立図書館を利用できない理由として、「時間的余裕がない」が1番多いことがわかります。



2番目に多い「その他」の意見では、「子どもが騒いで、周りに迷惑をかけないか心配。」「図書館の本を汚したり、破ったりしないか不安。」「コロナ禍でもあり、図書館で本を借りることに不安を感じる。」「車での利用がしづらい。」等があげられました。



■家庭の今後の取組

① 保護者等への理解の促進

子どもをもつ保護者等に対し、子どもの発達段階に応じた読み聞かせや読書の重要性についての理解を働きかけていきます。

② ブックスタート事業の推進

本市のブックスタート^{※3}事業は、子育て支援関係部局と連携して、乳児健診（9カ月～11カ月）受診者の親子へ絵本の読み聞かせを行い、絵本を1冊プレゼントし、読み聞かせのアドバイス等、乳幼児期における、読書活動の推進を図っていきます。

③ 公立図書館等の利用の促進

子どもにとって読書が大切であることを保護者へ伝えるような取り組みを、保育園・こども園、学校、児童館、公立図書館等の関係機関と連携して行い、読書機会の充実に努めます。

④ 広報活動の充実

読み聞かせ・おはなしボランティア団体等が実施する活動情報を広く市民へ提供するなど広報活動を充実させるとともに、毎年4月23日の「子ども読書の日」について、市役所本庁舎で展示などを実施し、啓発活動に取り組みます。

⑤ 「家庭の日・ファミリー読書の日」の普及・奨励

毎月第3日曜日の「家庭の日・ファミリー読書の日」には、「ノーテレビ・ノーゲームの時間」、「家庭読書の時間」を設けるよう、保護者等へ働きかけていきます。



3 ブックスタート：平成4年（1992年）にイギリスで「赤ちゃんと絵本を介して楽しいひとときを分かち合おう」をキャッチフレーズに、絵本を通じて親子の絆を深めることを目的に始まった運動。日本では、2000年の「子ども読書年」を機に紹介された。活動は全国各地に広がり、これまで多くの地域でさまざまな実践経験が蓄積されてきた。

2 地域における子どもの読書活動の推進

図書館

■図書館の役割

図書館は、豊富な図書の中から自分の読みたい本を自由に選択し、新たな発見や偶発的なおもしろい図書との出会いなど、読書の楽しさを体感することができる施設です。また、読書に対する相談や図書の検索など調べ学習の支援等も行っています。そして、おはなし会、おはなしボランティア養成講座、季節等に応じたお薦め本の展示、職場体験の受入れ、図書館見学など、読書活動につながる多様な機会を提供しています。

さらに、子どもの居場所になっている各施設やおはなしボランティア団体等へ団体貸出^{*4}を行うなど、読書に興味をもてる環境づくりを支援しています。このように、図書館は、地域における読書活動を推進する上で重要な役割を果たしています。

■図書館の現状と課題

- ① 子どもの読書活動を推進する上で極めて重要な役割を担っている図書館職員は、児童図書や、子どもの発達段階に応じた図書の選択に関することなどの知識・技能が求められます。図書館職員がこれらの役割を担っていくために専門的な職員研修が重要となってきます。
- ② 図書館をもっと活用してもらえるように子どもの居場所等の関係団体へ働きかけ、団体貸出の登録を増やすなど連携強化を図る必要があります。
- ③ 障がいのある子どもが自主的に読書活動を行える環境を整備する必要があります。
- ④ 図書館見学や職場体験等を積極的に受入れ、子ども達が図書館に興味や関心をもてるような体験プログラムの企画・運営に努める必要があります。
- ⑤ 社会的要因や物理的要因により図書館に来館することが困難な児童・生徒に対しても図書館サービスの提供が求められます。

4 団体貸出：公立図書館では、市内の事業所・機関及び関係団体等を対象に図書の貸出を行っている。貸出期間は1月以内。貸出冊数は、100冊以内。

■ 図書館の今後の取組

① 図書館専門職員研修の実施

職員の資質を高めていくため、図書館専門職員研修の実施に努めます。

② 子どもの居場所等の関係団体へは、大型絵本や紙芝居等を含めた団体貸出を推奨し、読み聞かせ活動や読書環境の支援に努めます。

③ 広報活動の充実

図書館の利用案内やサービス、催しものなどについて、最新の情報提供に努め図書館ホームページの充実を図ります。

④ 障がいのある子どもへの配慮

何らかの理由により通常の書籍を読むことが困難な子どもへの配慮としてデージー図書等の充実に努めます。

⑤ 図書館見学や職場体験の受入れの充実

図書館見学や職場体験の受入れにあたっては、実践業務のほか、図書館の社会的役割を伝えるなど、プログラムの充実に努めます。

⑥ 学校図書館との連携

学校図書館で活用できる資料の充実に努め、児童生徒の学習及び読書活動をサポートします。また、学校図書館司書との情報交換を積極的に図ります。

⑦ 電子図書館等新たなサービスの充実

図書館に来館することが困難な場合等にも活用ができる電子図書館^{※5}を令和3（2021）年度に導入しました。

いつでもどこでもスマホやタブレット等で読むことができる電子書籍の蔵書の充実に努め、読書環境の整備を図ります。



5 電子図書館：インターネットを通じて、スマートフォンやパソコン、タブレット端末から電子図書を借りて読むことができるサービスで、近年、全国の公共図書館での導入が増加傾向にある。

児 童 館

■ 児童館の役割

児童館は、子どもに健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とした施設です。児童館の図書室では、地域のボランティアによる読み聞かせやお話し会などの活動が行われており、これらの活動は、子どもが読書に親しむ契機としての役割を担っています。

■ 児童館の現状と課題

- ① 児童館では、乳幼児クラブ等への支援として、地域のボランティアによる手遊びや絵本・紙芝居の読み聞かせの場を提供しています。
- ② 各児童館に図書室が設置されていますが、図書数が少ない状況です。公立図書館との連携を強化し、図書の充実を図る必要があります。
- ③ ボランティアの協力体制を構築していくために、公立図書館・公民館等との連携を図り、おはなしボランティア団体等と児童館がつながるよう取り組む必要があります。

■ 児童館の今後の取組

① 乳幼児クラブ等への支援

乳幼児クラブ等の活動において、読書に親しむ多様な機会（絵本の読み聞かせや子どもの年齢に応じた手遊び・エプロンシアター^{※6}・パネルシアター^{※7}など）の支援を充実させて、地域のボランティアの方に子どもの読書活動への理解を深めていきます。



6 エプロンシアター：舞台に見立てた胸あて式エプロンに物語の背景とマジックテープを縫いつけ、演じ手がポケットから人形を取り出し、歌やセリフに合わせてエプロンに貼り付けたり、外したり、ポケットに戻したりしながら物語を演じる人形劇。

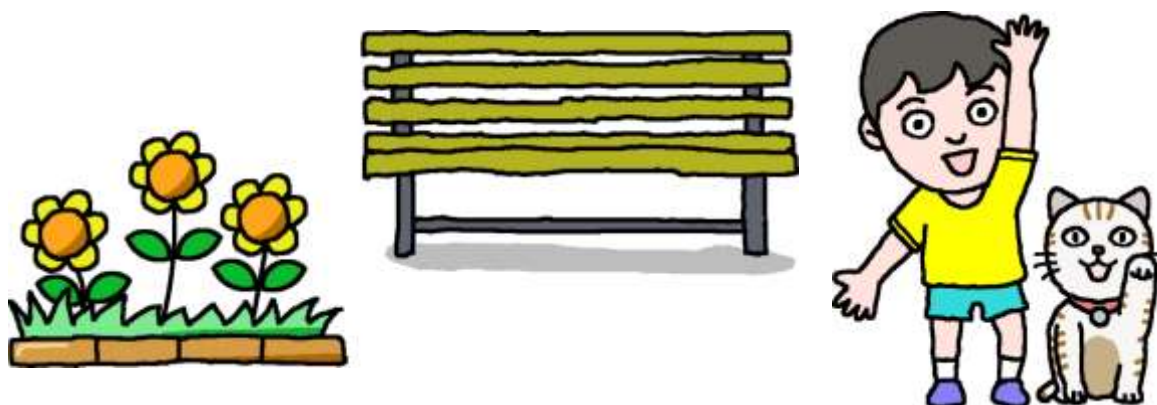
7 パネルシアター：パネル布を貼った舞台に、歌やセリフに合わせて絵や文字を張ったり外したりして、展開するお話、歌遊び、手遊び、ゲームなどのこと。

② 図書資料の充実

児童館の図書資料を充実していくために、公立図書館の団体貸出の利用や同館で実施されているリサイクル資料^{*8}の活用を図るなど、来館する児童がより多くの図書に接することができるよう努めます。また、乳幼児の親子も利用が多いため、子育てのヒントになるような本を取り入れていけるよう公立図書館と連携していきます。

③ 地域のボランティア等との連携の構築

地域のボランティア等と児童館がつながり、読み聞かせ活動の充実を図るため、公立図書館・公民館と連携し、同施設で実施する「読み聞かせボランティア養成講座」受講者等との協力体制を構築していきます。



8 リサイクル資料：市立図書館で不用になった資料（主として雑誌）や市民から寄贈された本（寄贈資料という）の中で、図書館にある程度の所蔵があるため、登録して貸し出すことのない資料をいう。

■ 公民館の役割

公立公民館の設置目的は、社会教育法第20条で「実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与すること」と定めています。

本市公民館においても、関係機関と連携し、子どもが読書活動に親しむきっかけづくりや地域への読書活動の普及を目指します。

■ 公民館の現状と課題

本市中央公民館では、図書館と連携し、読み聞かせについて体系的な学習ができるよう「読み聞かせ養成講座（入門編）」を企画・実施してきました。今後はさらに、学習の成果を地域活動に繋げるための機会づくりを行います。

■ 公民館の今後の取組

① 読み聞かせ養成講座（入門編）修了生の活動支援

学習の成果が地域活動に繋がるよう、地域のニーズを把握し、活動に関する相談・調整等を行います。

② 読書活動の啓発

公民館を利用する地域住民やサークル団体に対し、子どもの読書活動についての理解を促すとともに、乳幼児学級や家庭教育学級等の講座や公民館まつり等を通して来館者へ家庭や地域での子どもの読書活動への関心を高めるよう、啓発に努めます。



3 学校等における子どもの読書活動の推進

保育園・こども園

■ 保育園・こども園の役割

保育園・こども園においては、保育所保育指針^{※9}、及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領^{※10}に示されているように、幼児が絵本や物語などに親しむ活動を積極的に行い、読書の楽しさを知ることができるよう、その指導の充実を促進する必要があります。

さらに、保育園・こども園での読み聞かせの推進をよりいっそう図るとともに、園の保護者をはじめ、未就園児を対象とした子育て支援活動の中でも、読み聞かせの意義、重要性について広く周知し、多くの家庭で読み聞かせの習慣化を推進することが求められています。

また、異年齢交流において、小中学生が保育園・幼稚園・こども園の幼児に読み聞かせを行うなど、子どもが絵本等に触れる機会が多様になるよう工夫する必要があります。

■ 保育園・こども園の現状と課題

- ① 保育園・こども園では、保育所保育指針及び、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、幼児が絵本や物語などに親しめるよう、全施設で創意工夫を凝らし読み聞かせを実施しています。
- ② 乳幼児期の年齢や発達段階に応じた絵本の読み聞かせ、図書の特選等を行うとともに、保護者等への読み聞かせの普及活動を推進する必要があります。
- ③ 子どもが身近に絵本に触れられるよう、絵本コーナーの設置、探しやすい絵本の分類、絵本の貸出など、読書環境の整備に努める必要があります。
- ④ 本市教育委員会が令和3（2021）年に実施した「子どもの読書活動状況調査結果」（資料2参照）をみると、公立こども園（19園）・公私連携型こども園（20園）では、子どもへの読み聞かせを毎日実施しています。子どもたちが保育園やこども園で過ごす時間の中で、本に親しむ機会が設けられており、読書環境の整備の推進が図られています。今後は、読み聞

9 保育所保育指針：厚生労働省が告示する保育所における保育の内容及び運営に関する事項について定めた基準。

10 幼保連携型認定こども園教育・保育要領：内閣府・文部科学省・厚生労働省が告示するこども園における教育・保育課程の基準。

かせボランティアを含めた地域人材の活用も検討していく必要があります。

- ⑤ 上記④と同じ調査結果をみると、公立図書館との連携（団体貸出等の利用を含む）について、こども園 14 園で連携しています。
- ⑥ 保育園・こども園での乳幼児への読み聞かせについて、ボランティアや保護者、児童生徒等へ協力を求め、体制の充実を図るとともに、公立図書館との連携を促進する必要があります。
- ⑦ 乳幼児期の年齢や発達段階に応じて絵本環境の構成、絵本への親しみや興味関心、想像する楽しさを引き出せるような読み聞かせの技術など、保育士・保育教諭の資質をさらに高める必要があります。

■ 保育園・こども園の今後の取組

- ① 絵本の読み聞かせ、図書の精選等の充実
年間計画に基づき、乳幼児期の年齢や発達段階に応じ毎日絵本の読み聞かせを実施、図書の精選等を行っていきます。
- ② 保護者等への読み聞かせ等の普及活動の推進
乳幼児期において、乳幼児が絵本や物語などに親しむことにより、豊かな人格形成の基礎を培うことから、読み聞かせの大切さや意義を保護者等へ広く普及していきます。
- ③ 読書環境の整備・充実
図書の充実を図り、絵本コーナーの設置や絵本の貸出等、読書環境の整備に努めます。
- ④ 異年齢との関わりを広げる
幼児期に異年齢の子どもと関わることは、社会性を身につけていくうえで大切なことなので、小中学生が保育園・こども園の乳幼児に読み聞かせ等を行う機会の充実を図っていきます。
- ⑤ 保護者等との協力関係の充実
保育園・こども園での幼児への読み聞かせについて、ボランティアや保護者、児童生徒等へ協力を求め、協力体制の充実を図ります。
- ⑥ 公立図書館との連携・協力
公立図書館の団体貸出の内容や方法を各園へ周知し、活用を推進するとともに、図書館司書に連携・協力を求め、乳幼児期の年齢や発達段階に応じた絵本・図書の選定等に努めます。

公立図書館のリサイクル資料を利用し、こども園の蔵書の増加を図ります。

各園のホームページに公立図書館のホームページのリンクを張り、情報を共有します。また、公立図書館の利用案内等を園の掲示板へ掲示するなどして、保護者へ公立図書館の利用を促します。

⑦ 職員の資質向上

乳幼児期の年齢や発達段階に応じた絵本の読み聞かせや、紙芝居、図書の精選及び読書環境の整備等に積極的に取り組んでいくため、日々の保育実践の中で保育士・保育教諭の資質向上を図っていきます。



小学校・中学校

■小学校・中学校の役割

学校における読書活動は、発達段階に応じて子どもが本に親しみ、本のよさを知り、読書への興味・関心を高めていくとともに、子どもの読書習慣を身につけ、確かな学力の基礎を形成していく上で、大きな役割を担っています。

教育基本法の理念を受けて、平成19（2007）年6月に改正された学校教育法第21条第5号において、義務教育として行われる普通教育の目標の一つとして、「読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと」と規定しています。

また、学習指導要領^{*11}において、学校図書館には、読書活動の推進のために利活用されることに加え、調べ学習や新聞を活用した学習など、各教科等の様々な授業で活用されることにより、学校における言語活動や探究活動の場となることが、期待されています。

これらの教育基本法、学校教育法、学習指導要領を踏まえ、小学校・中学校における子どもの読書活動の推進を図る必要があります。



11 学習指導要領：文部科学省が告示する教育課程の基準。小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の各学校が各教科で教える内容を、学校教育法施行規則の規程を根拠に定めたもの。

■小学校・中学校の現状と課題

- ① 各小中学校においては、司書教諭等^{※12}を中心に、読書活動推進計画を作成し、読書活動の充実や各教科等を通じて、学校図書館を活用した学習活動を計画的に推進しています。
- ② 学校図書館は、児童生徒の「読書センター^{※13}」機能及び「学習センター・情報センター^{※14}」機能を有しています。とりわけ、「学習センター・情報センター」として、児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成する機能を高めていくため、司書教諭をはじめ全教職員が連携して子どもの学習活動・読書活動を推進していく必要があります。
- ③ 新聞^{※15}・雑誌・パンフレットの配備のほか、インターネットなど様々な資料を活用できるよう指導の充実を図り、学校図書館を「学習センター・情報センター」として計画的に活用する必要があります。
- ④ 児童生徒の発達段階に応じた読書活動を支援するとともに、「読めない・読まない」児童生徒への読書活動への配慮が必要です。
- ⑤ 各小中学校では、毎月第3日曜日の「家庭の日・ファミリー読書の日」には、「家庭読書の時間」を設けるよう、児童生徒や保護者等へ働きかけていく必要があります。



12 司書教諭等：司書教諭は、学校図書館法で、各学校に置くことになっており（12学級以上の小学校・中学校に発令）、教諭のうち、司書教諭資格を有する者の中から発令され、学校図書館運営をコーディネートし、学校図書館を活用した授業の支援を行う。本市は、全校に学校図書館司書を配置し、司書教諭とともに、学校図書館運営を行っている。

13 読書センター：学校図書館は、児童生徒の創造力を培い、学習に対する興味・関心等呼び起こし、豊かな心をはぐくむ、自由な読書活動や読書指導の場である「読書センター」としての機能を有する。

14 学習センター・情報センター：学校図書館は、児童生徒の自発的・主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成して、教育課程に寄与する「学習センター・情報センター」としての機能を有する。

15 新聞の配備：国は、第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」において、学校図書館への新聞配備を小学校等2紙、中学校等3紙の複数紙配備を図るとしている。

■ 小学校・中学校の今後の取組

① 読書活動推進計画の充実

各小中学校においては、司書教諭等を中心に、各学校での読書活動推進計画^{※16}の充実を図りながら、学校図書館の円滑な運営を目指して全教職員が連携して読書活動を推進していきます。

② 学校図書館機能を高めるための条件整備

学校図書館は、「読書センター」「学習センター・情報センター」としての機能を高めていくため、適切な図書の選定や推薦図書コーナーの設置などの条件整備に努めるとともに、新聞など様々な資料を活用できるよう資料の充実を図ります。

③ 障がいのある児童生徒への読書環境の工夫・充実

公立図書館と連携を図りながら障がいのある児童生徒の状態や特性等を考慮した適切な図書を選定するとともに、読書環境の工夫・充実に努めます。

④ 学校内外における読書活動の推進に関する研修の充実

子どもの読書活動推進の諸課題に取り組んでいくには、司書教諭をはじめ教職員の意識高揚や指導力の向上が求められるため、読書活動の推進に関する研修の充実を図っていきます。

⑤ 「家庭の日・ファミリー読書の日」の普及・奨励

各小中学校では、毎月第3日曜日の「家庭の日・ファミリー読書の日」の普及・奨励のため、児童生徒や保護者等へ働きかけていきます。

⑥ 「しまくとうば」に触れる機会をもち、読書の幅を広げる

本市の小中学校では、小冊子『ちかていあしばなしまくとうば（使って遊ぼうしまくとうば）』を読書活動や読み聞かせにおいて活用し、しまくとうばに触れる機会を持ちます。さらに、沖縄の民話などの沖縄文学への関心をもたせて、読書の幅を広げることにつなげます。

16 読書活動推進計画：「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第33条1項及び「那覇市立小学校及び中学校管理運営規則」第5条の規定に基づき、学校では教育課程の編成の中で、毎年、読書活動推進計画を作成している。

第4次那覇市子どもの読書活動推進のための指標及びめざそう値一覧表

指標及びめざそう値については、家庭、地域、学校等の三つに分類して、次のとおり設定しました。

分類	指標		主体 (主管課)	指標の意図・説明	現状値	めざそう値
					2021年	2027年
家庭	1	家庭における保護者等による読み聞かせ、週2回以上の割合	こども園 ・みらいこども園 (こども教育保育課)	こども園・みらいこども園において、保護者会やお手紙を通して日常における読み聞かせの重要性を周知し、保護者等による幼児への読み聞かせの習慣化を推進します。	67.9%	71.0%
	2	中学生・高校生向けの企画実施件数	図書館 (中央図書館)	中学生・高校生向けの企画を行い、図書館の魅力を発信し、中学生・高校生の読書活動の充実を図ります。	4件	7件
地域	3	デジター図書の貸出数	図書館 (中央図書館)	視覚障がい等により活字などによる印刷物を読むことが困難な方のためにカセットテープに代わるものとして開発された「デジター図書」は、発達障がい等の方にも有効な資料と言われています。市内小中学校の特別支援学級等に出向き、デジター図書の周知を行い利用促進を図ります。	35点	41点
	4	学校図書館への貸出回数	図書館 (中央図書館)	公立図書館7館から学校図書館へ本の貸出を行っており、貸出回数を増やすことにより、学校図書館で活用できる資料数を増やし、児童生徒の学習及び読書活動をサポートします。	102回	136回
	5	公立図書館の団体貸出を利用している児童館数・率	児童館 (こども政策課)	来館する児童だけでなく乳幼児親子にも、本に触れ、読書に親しんでもらうよう、公立図書館の団体貸出を活用する児童館数を増やします。	4館 36%	11館 100%
	6	読み聞かせにボランティアが参加している児童館数・率	児童館 (こども政策課)	公立図書館・公民館の「読み聞かせボランティア養成講座」修了生や地域の方々などへ児童館でのボランティアによる読み聞かせの依頼を行い、読み聞かせ活動にボランティアが参加している児童館を増やします。	2館 18%	11館 100%
	7	読み聞かせ養成講座(入門編)を修了した人数	公民館 (中央公民館)	読み聞かせの基礎や実践方法を学び、読み聞かせを通して、子ども達が絵本の楽しさを体験し、絵本に興味・関心を持てるような読書環境づくりの促進ができる人材を養成します。	0人	24人
	8	絵本の貸出を行っているこども園等の割合	こども園 ・みらいこども園 (こども教育保育課)	園において、定期的に絵本の貸出を行うことで子どもの絵本への興味を広げる。また、家庭に持ち帰ることで家庭での読み聞かせの習慣化を促進します。	82.5%	95%
	9	季節の絵本や図鑑などの紹介や展示コーナー等の設置割合	こども園 ・みらいこども園 (こども教育保育課)	園内で季節の絵本や図鑑などの展示、紹介を行うことで子どもたちの興味を引き出すだけでなく保護者へも関心を持ってもらい、家庭での乳幼児への読み聞かせや読書活動への推進を図ります。	95%	100%
学校等	10	蔵書冊数の充実(園児一人当たりの蔵書冊数)	こども園 ・みらいこども園 (こども教育保育課)	乳幼児の読書活動を推進していくためには、良い絵本を多く取りそろえる必要があるため、多様な手段を通して蔵書冊数の充実(園児一人当たりの蔵書冊数を増やすこと)をめざします。	14.5冊	20冊
	11	新聞を配備している学校図書館数・率	小学校・中学校 (学務課)	学校図書館の機能をより高めるため、児童生徒及び教職員が新聞など様々な資料を活用できるよう、資料の充実を図ります。	小 100%	100%
					中 100%	100%
	12	学校図書館への推薦図書コーナーの設置割合	小学校・中学校 (学校教育課)	児童生徒の読書活動を推進していくため、学校図書館に推薦図書コーナーを設置する学校を増やし、内容の充実を図ります。	小 100%	100%
					中 94.1%	100%
13	読書活動の推進に関する校内研修を開催する学校の割合	小学校・中学校 (学校教育課)	読書指導や学校図書館を活用した学習活動などについて、教育計画の読み合わせや搬送システムについての研修を通して教職員の共通理解を図り、教職員の資質向上に取り組みます。	小 80.5%	100%	
				中 64.7%	100%	

第4章 計画推進のしくみ

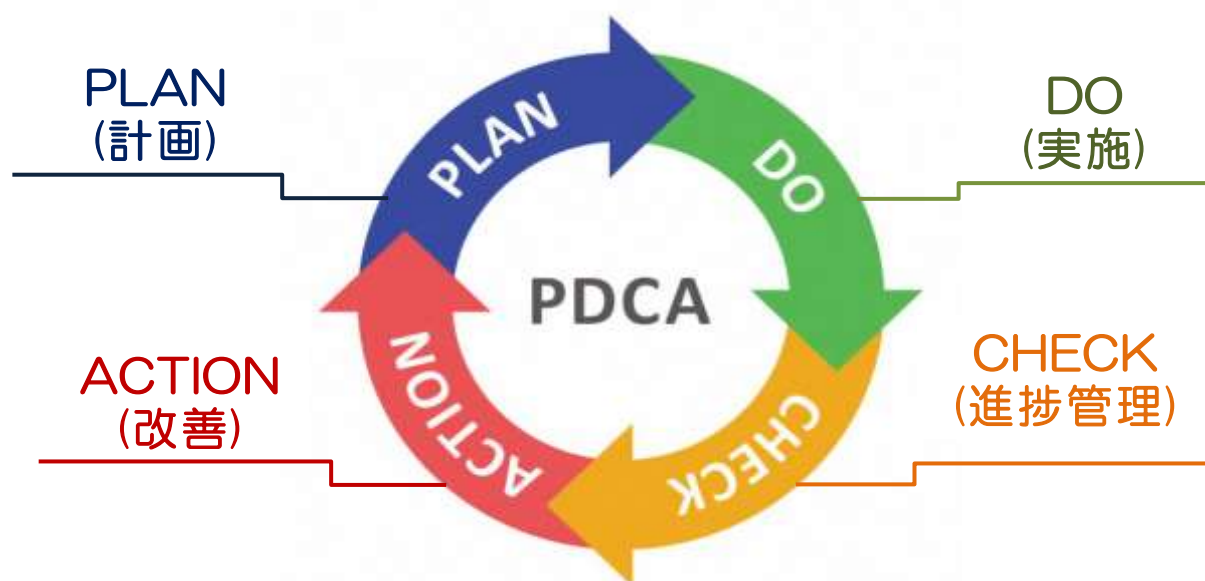
1 読書活動推進の取組の進捗管理と評価

第4次計画では、計画の推進を通して、子どもが読書に親しむ機会の拡充と諸条件の整備・充実を図ることにより、基本理念の実現に努め、子どもの読書活動に係る取組を推進することを目的として策定しています。

本計画を実行性のあるものにしていくために、読書活動推進の取組の進捗管理^{※17}と評価について、下記のとおり実施します。

■進捗管理の手法

第4次計画の読書活動推進の取組における進捗管理の手法は、下記のPDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクル^{※18}を活用して実施します。



17 進捗管理：施策・事業（取組）のめざそう値を把握することにより、施策・事業（取組）の進捗度合いを確認すること。

18 PDCAサイクル：施策・事業（取組）に必要な要素である Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の頭文字を取ったもの。企画から改善までを一貫した流れで捉え、各要素を循環させることで、施策・事業（取組）の改善につなげる考え。

■ 評価の方法

① 評価の対象

読書活動推進の取組に係る評価の対象は、13 の指標及びめざそう値の達成度を評価します。

② 評価の手法

指標ごとの実績値の情報取得については、各指標を担当する課・機関において、定期的（原則、毎年度 1 回程度）に実施します。

評価の実施は、那覇市子どもの読書活動推進委員会で評価を行い、社会教育委員の会議で評価についての意見聴取を行います。

計画の途中で、必要があれば指標の見直し等を行うものとします。

③ 評価の実施時期

評価の実施時期は、令和 8（2026）年度に評価を行います。前年度（令和 7 年度）の実績値をもとに、めざそう値の達成状況をもって評価をします。

④ 評価の公表

評価の実施結果については、市ホームページ等を通して公表します。

■ 読書活動推進の取組みの評価結果の活用

読書活動推進の取組みの評価結果については、各指標を担当する課・機関での取組において、継続または見直し・改善・廃止等を検討する際に活用し、読書活動の推進が図られるよう努めていきます。



2 計画の推進に向けて

■ 関係機関の連携・強化

子どもの読書活動を取り巻く情勢は時代とともに変化してきました。近年の情報通信手段の普及による環境の変化に対応しながらも、関係課・地域・学校・家庭などが、それぞれの役割を認識し、相互に連携を深め、読書活動の推進に関わる情報共有ができる体制の整備に取り組みます。

■ 社会的気運の醸成

市民一人ひとりが子どもの読書に対する理解と関心を深め、その重要性を認識することで、読書活動を積極的に推進することができます。

4月23日の「子ども読書の日」をはじめとする読書活動に関する啓発の場を積極的に設け、市民への読書の関心を高め、本計画の推進を図っていきます。



〈 資 料 編 〉

- 1 第3次計画の指標の達成状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
- 2 那覇市子どもの読書活動状況調査実施の結果・・・・・・・・・・29
- 3 那覇市子どもの読書活動推進委員会要綱・・・・・・・・・・46
- 4 第4次那覇市子どもの読書活動推進計画の策定の過程・・・・・・・・48
- 5 子どもの読書活動の推進に関する法律・・・・・・・・・・49

第3次計画の指標の達成状況

第3次計画期間においては、下記のとおり14指標を設定し、それぞれ2020年度と2022年度におけるめざそう値を設定しました。進捗状況については、以下のとおりとなります。

指標名	現状値 2016・ 2017年度	めざそう値 2020年度	実績値 2020年度	めざそう値 2022年度
① 家庭における保護者等による乳幼児への読み聞かせ、週2回以上の割合 こ：こども園、み：みらいこども園	こ 64.5% み 68.7%	こ 69.0% み 69.5%	こ 54.4% み 59.6%	こ 72.0% み 70.0%
② 公立図書館を年間3回以上利用している保護者等の割合	こ 25.1% み 20.8%	こ 48.5% み 40.0%	こ 31.9% み 20.0%	こ 50.0% み 41.5%
③ おはなし会参加者の満足度	91.4%	—※ ¹⁹	100%	96.0%
④ デイジー図書の本数	144本	227本	233本	257本
⑤ 学校図書館への貸出回数	91回	63回	122回	196回
⑥ 公立図書館の団体貸出を利用している児童館数・率	7館 64.0%	11館 100%	6館 54.0%	11館 100%
⑦ 読み聞かせにボランティアが参加している児童館数・率	0館 0%	7館 64.0%	1館 9.0%	11館 100%
⑧ 読み聞かせ養成講座(初級)修了生の活動回数	0回	—※ ¹⁹	0回	12回
⑨ 公立図書館の団体貸出を利用している施設の割合	こ 約19% み 約86%	こ 約44% み 100%	こ 31.0% み 50.0%	こ 約53% み 100%
⑩ 読み聞かせ等に関する職員研修の開催施設の割合	こ 約83% み 100%	こ 100% み 100%	こ 60% み 50%	こ 100% み 100%

19 ー：2020年度にめざそう値の見直しを行い、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催が見込めない指標については、めざそう値の設定ができないため「ー」と記載。

指 標 名	現状値 2016・ 2017年度	めざそう値 2020年度	実績値 2020年度	めざそう値 2022年度
⑪ 蔵書冊数の充実（園児一人当たりの蔵書冊数）	こ 9.8冊 み 9.9冊	こ 11.3冊 み 10.0冊	こ 19.2冊 み 17.6冊	こ 12.3冊 み 11.0冊
⑫ 新聞を配備している学校図書館数・率	小 72.2% 中 100%	小 86.1% 中 100%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%
⑬ 学校図書館への推薦図書コーナーの設置割合	小 100% 中 88.2%	小 100% 中 94.1%	小 100% 中 94.1%	小 100% 中 100%
⑭ 読書活動の推進に関する校内研修を開催する学校の割合	小 63.8% 中 82.3%	小 50.0% 中 52.9%	小 77.8% 中 88.2%	小 97.2% 中 94.1%

那覇市子どもの読書活動状況調査実施の結果

- 目的：本市の乳幼児を持つ家庭において、読書活動の一環である読み聞かせや市立図書館の利用状況等について、どのように関わっているかを調査し、「第4次那覇市子どもの読書活動推進計画」策定に生かす。
- 実施期間：令和4年5月11日～6月17日
- 調査対象施設：① 未来こども園 5園・こども園 34園
② 児童館 11館
- 調査対象保護者：① 未来こども園 5園・保育園 4園
(0～5歳児の保護者)
② こども園 8園 (4～5歳児の保護者)

●子どもの読書活動状況調査回収結果

《施設》

	配布数	回収計	回収率
未来こども園・ 保育園	5	5	100%
こども園	34	34	100%
児童館	11	11	100%
計	50	50	100%

《保護者》

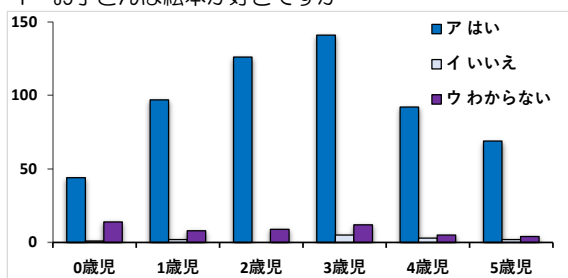
	配布数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	回収計	回収率
未来こども園・ 保育園	992	59	107	135	158	100	75	634	63.9%
こども園	503					148	246	394	78.3%
計	1,495	59	107	135	158	248	321	1028	68.8%

1 お子さんは絵本が好きですか

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	%
ア はい	44	97	126	141	92	69	569	89.7%
イ いいえ	1	2	0	5	3	2	13	2.1%
ウ わからない	14	8	9	12	5	4	52	8.2%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	59	107	135	158	100	75	634	100%

①約9割の保護者がお子さんは絵本が好きと回答。

1 お子さんは絵本が好きですか

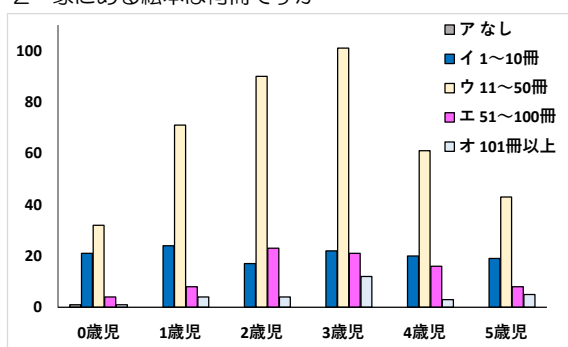


2 家にある絵本は何冊ですか

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	%
ア なし	1	0	0	0	0	0	1	0.2%
イ 1~10冊	21	24	17	22	20	19	123	19.4%
ウ 11~50冊	32	71	90	101	61	43	398	62.8%
エ 51~100冊	4	8	23	21	16	8	80	12.6%
オ 101冊以上	1	4	4	12	3	5	29	4.6%
無回答	0	0	1	2	0	0	3	0.4%
合計	59	107	135	158	100	75	634	100%

①11~50冊の家庭が年齢に関係なく多い。

2 家にある絵本は何冊ですか

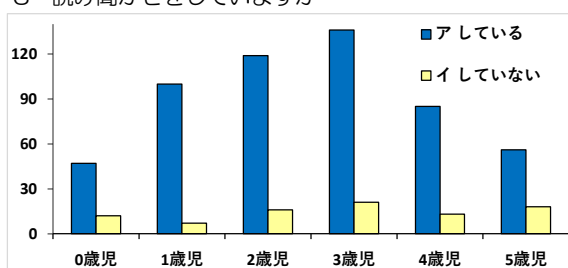


3 読み聞かせをしていますか

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	%
ア している	47	100	119	136	85	56	543	85.7%
イ していない	12	7	16	21	13	18	87	13.7%
無回答	0	0	0	1	2	1	4	0.6%
合計	59	107	135	158	100	75	634	100%

①85.7%の家庭で実施。

3 読み聞かせをしていますか

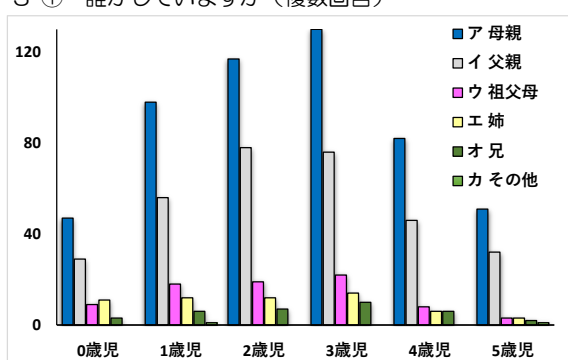


3-① 誰がしていますか(複数回答)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	%
ア 母親	47	98	117	130	82	51	525	96.7%
イ 父親	29	56	78	76	46	32	317	58.4%
ウ 祖父母	9	18	19	22	8	3	79	14.5%
エ 姉	11	12	12	14	6	3	58	10.7%
オ 兄	3	6	7	10	6	2	34	6.3%
カ その他	0	1	0	0	0	1	2	0.4%
無回答	0	1	0	0	0	0	1	0.2%
合計	99	192	233	252	148	92	1016	

①読み聞かせをしていると回答した家庭の9割以上で母親が実施している。
②その他は、「おば」など。

3-① 誰がしていますか(複数回答)

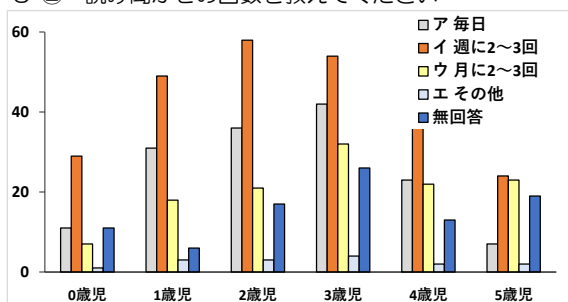


3-② 読み聞かせの回数を教えてください

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	%
ア 毎日	11	31	36	42	23	7	150	23.7%
イ 週に2~3回	29	49	58	54	40	24	254	40.0%
ウ 月に2~3回	7	18	21	32	22	23	123	19.4%
エ その他	1	3	3	4	2	2	15	2.4%
無回答	11	6	17	26	13	19	92	14.5%
合計	59	107	135	158	100	75	634	100%

①各年齢ともに週2~3回が多い。

3-② 読み聞かせの回数を教えてください

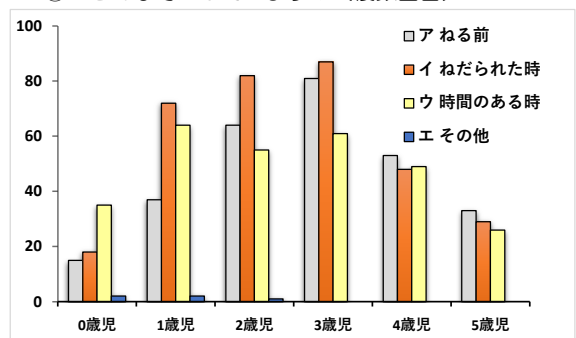


3-③ どんな時にしていますか(複数回答)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	%
ア ねる前	15	37	64	81	53	33	283	44.6%
イ ねだられた時	18	72	82	87	48	29	336	53.0%
ウ 時間のある時	35	64	55	61	49	26	290	45.7%
エ その他	2	2	1	0	0	0	5	0.8%
無回答	0	0	1	1	0	0	2	0.3%
合計	70	175	203	230	150	88	916	

- ①「ねだられた時」に読み聞かせをするという回答が最も多い。
②その他の回答では、「長時間テレビを見ている時」、「絵本を手にしたとき」など。

3-③ どんな時にしていますか(複数回答)

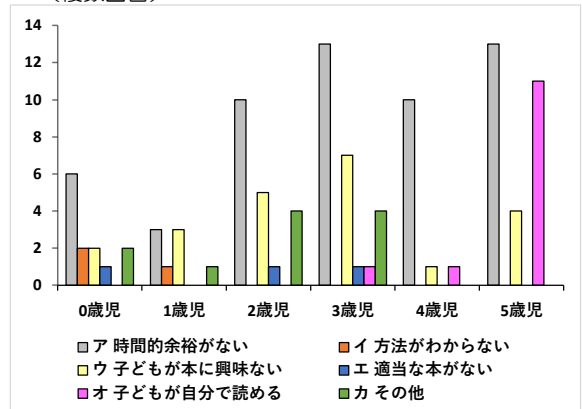


※「イ していない」理由について教えてください(複数回答)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	%
ア 時間的余裕がない	6	3	10	13	10	13	55	63.2%
イ 方法がわからない	2	1	0	0	0	0	3	3.4%
ウ 子どもが本に興味ない	2	3	5	7	1	4	22	25.3%
エ 適当な本がない	1	0	1	1	0	0	3	3.4%
オ 子どもが自分で読める	0	0	0	1	1	11	13	14.9%
カ その他	2	1	4	4	0	0	11	12.6%
無回答	0	0	0	1	0	0	1	1.1%
合計	13	8	20	27	12	28	108	

- ①「時間的余裕がない」が63.2%と最も多い。
②その他の理由は、「落ち着いて見てくれないから」、「自分で楽しんでるため」など。

※「イ していない」理由について教えてください(複数回答)

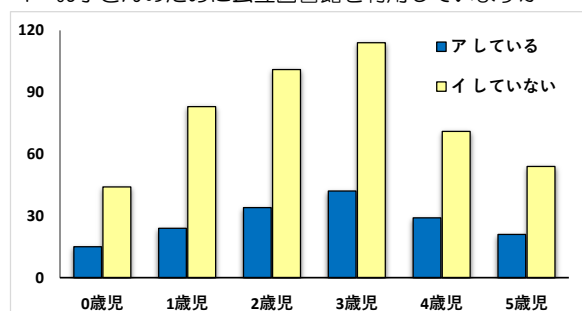


4 お子さんのために公立図書館を利用していますか

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	%
ア している	15	24	34	42	29	21	165	26.0%
イ していない	44	83	101	114	71	54	467	73.7%
無回答	0	0	0	2	0	0	2	0.3%
合計	59	107	135	158	100	75	634	100%

- ①7割以上が公立図書館を利用していない。

4 お子さんのために公立図書館を利用していますか

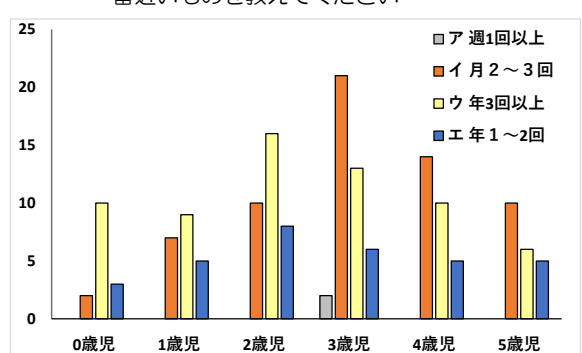


4-① お子さんのための公立図書館の利用頻度について一番近いものを教えてください

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	%
ア 週1回以上	0	0	0	2	0	0	2	1.2%
イ 月2~3回	2	7	10	21	14	10	64	38.8%
ウ 年3回以上	10	9	16	13	10	6	64	38.8%
エ 年1~2回	3	5	8	6	5	5	32	19.4%
オ その他	0	1	0	0	0	0	1	0.6%
無回答	0	2	0	0	0	0	2	1.2%
合計	15	24	34	42	29	21	165	100%

- ①利用している26.0%のうち、月2~3回、年3回以上利用しているのがそれぞれ約4割ずつ。

4-① お子さんのための公立図書館の利用頻度について一番近いものを教えてください



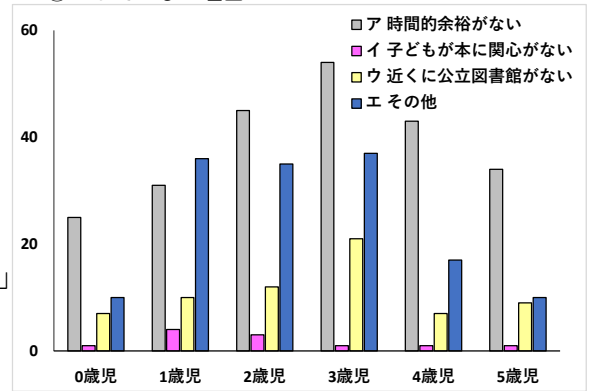
4-② していない理由

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	%
ア 時間的余裕がない	25	31	45	54	43	34	232	49.7%
イ 子どもが本に関心がない	1	4	3	1	1	1	11	2.4%
ウ 近くに公立図書館がない	7	10	12	21	7	9	66	14.1%
エ その他	10	36	35	37	17	10	145	31.0%
無回答	1	2	6	1	3	0	13	2.8%
合計	44	83	101	114	71	54	467	100%

①49.7%が「時間的余裕がない」と回答した。

②その他の理由は、「子どもが騒ぐから」、「家にある本で満足できている」のほか、「コロナが不安で、不特定多数の人の接触を避けたいため」という理由も多くあった。

4-② していない理由

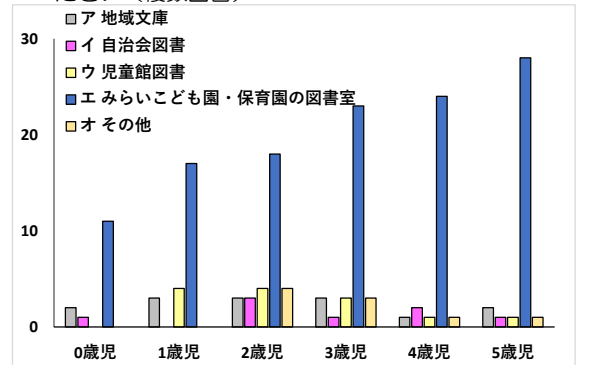


5 公立図書館以外に利用されている施設を教えてください(複数回答)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	%
ア 地域文庫	2	3	3	3	1	2	14	2.2%
イ 自治会図書	1	0	3	1	2	1	8	1.3%
ウ 児童館図書	0	4	4	3	1	1	13	2.1%
エ みらいこども園・保育園の図書室	11	17	18	23	24	28	121	19.1%
オ その他	0	0	4	3	1	1	9	1.4%
無回答	46	88	105	130	71	43	483	76.2%
合計	60	112	137	163	100	76	648	

①通っている「みらいこども園・保育園の図書室」が最も多い。

5 公立図書館以外に利用されている施設を教えてください(複数回答)



6 その他意見

【図書館について】

- ・図書館や関連する施設の情報を定期で発行して欲しい。
- ・近くの図書館は駐車場がないので、図書館の本を郵送で返却(貸し出し)できるサービスがあったらいいなと思ってます。あと、公園併設とかも良いですね。
- ・県立図書館の駐車料が高くて行きたいけどなかなか足が向きません。
- ・県立図書館の遠隔地返却サービスが利用できるとありがたい。
- ・図書館などの静かなところで大人しくできるようになってから連れていきたいです。
- ・子ども用DVD(ジブリ、ディズニー)増やしてほしい
- ・公立図書館の駐車場がせまい。車で行きにくいから、利用しにくい。
- ・近い図書館は駐車場がなく不便、徒歩圏内に児童館等もなく公共施設の利用がしづらいつと感じる。
- ・近い図書館には駐車場が無く利用しづらい。
- ・どこに子供用の絵本が充実した施設があるかわからない。
- ・図書館に行く時間が取れないことが多いです。移動図書館や返却先をもっと増やす(保育園)などにしていきたい。小禄支所でも借りられるようになったらいいな。
- ・電子図書館ありがたいです。
- ・公立図書館の駐車場代が高い。子供を連れてゆっくり探す時間がない。30分では難しい。
- ・電子図書館ありがたいです、動く絵本チルピーをよく見えています。
- ・天久新都心に児童館(図書館)をつくってほしい
- ・もっと身近に絵本を借りたり、読んだりできる場所が欲しい。
- ・那覇市立図書館は分散しすぎて、1つの図書館の蔵書数が少ない。読みたいと思う本が置いていないことが多い。駐車場が1時間のみ無料なので、車を止めて、図書館まで歩いていっているうちに30分くらい経過して、あわてて15分で本を探すのでゆっくりできない。小さいころから図書館に通う回数がないと、子どもが図書館に愛着を持ってないと思います。もっと市民が通いやすい図書館を作ってほしい。ただ図書館が存在しているということだけでなく、利用率もきちんと評価して利用しやすい図書館を作って欲しい。
- ・新都心に図書館が欲しいです。
- ・沖縄市ちえぞうくんのような音楽を流しながら毎週やってくる移動図書館者があるとかなり子どもたちへは良いと思います
- ・新都心地区に図書館があると嬉しい。駐車場1時間無料であれば利用したい。
- ・新都心にも図書館があると良いなと思います。
- ・図書館が少ないので増やしてほしい。(地域ごとにあると徒歩で通って本を読む機会が増えるので)
- ・公立図書館の営業時間を延長してほしい。公休日も開館してほしい。
- ・本を破ったりしそなので(1歳)なかなか図書館は利用しづらいつですね。

【園について】

- 現在保育園からの絵本の貸出がありますが、図書館に行かなくても身近に絵本に触れられる機会があればと思います。子どもは絵本が大好きです。
- 園などで購入できたら、ぜひ利用したいです。
- はみがき特集などを常時して欲しい。育児書も近くに置いて欲しい。
- 子どもに聞いたところ、こども園の玄関などに、もっと面白い本を置いてほしいと言っていました。
- いらなくなった絵本を各家庭から持って来てもらい、他の子が選んで自由にもらえると良いリサイクルになる。
- 保育園で貸し借りできるように置かれていると良いなと思います。

【児童館について】

- 児童館図書室で土・日曜日に絵本の読み聞かせがあれば利用したい。

【読み聞かせ・読書について】

- 弟のいるお姉ちゃんなのですが、先生や私のマネをして読み聞かせをするのが大好きです。
- 0歳児ですが、読み聞かせにどんな効果があるのでしょうか、子どもは絵本を見るというよりかじって遊んでいます。
- 絵本の種類が多いので、本屋さんに行っても、何を買えばいいか迷ってしまい、結局買わずに帰ってしまいます。オススメの本や季節を感じる本など、教えてくれる方法があれば、すごく参考になります。
- 本の読み聞かせをすると子どもとの交流がもてるから良いと思う。
- もう少し時間があれば、図書館を利用して、もっと絵本を読ませてあげたいです。
- よく行く小児科で本を読んでいます、その他は引っ越すため最近は読んでいません。
- 年齢ごとに読み聞かせCD（最近あまり見かけません）などありましたら、園を通して、購入したいです。車内で聞けると嬉しいです。

【その他】

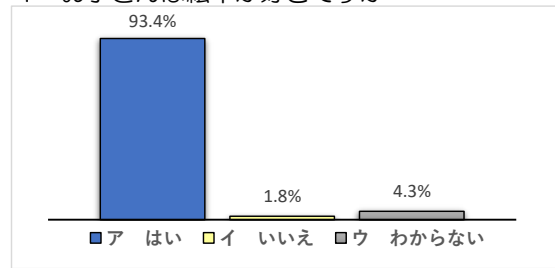
- 那覇市のブックスタートで頂いた絵本、子どものお気に入りです。ありがとうございます。
- ブックスタート以外にも絵本のプレゼントがあると嬉しいです。
- 家庭で不要になった本を無料で譲渡できる機会や場所があると良いなと思います。

1 お子さんは絵本が好きですか

	4歳児	5歳児	合計	%
ア はい	140	228	368	93.4%
イ いいえ	0	7	7	1.8%
ウ わからない	8	9	17	4.3%
無回答	0	2	2	0.5%
合計	148	246	394	100%

①約9割の保護者がお子さんは絵本が好きと回答。

1 お子さんは絵本が好きですか

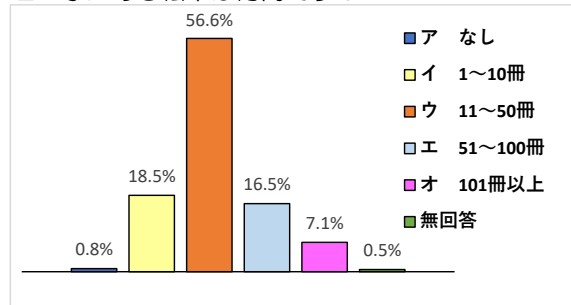


2 家にある絵本は何冊ですか

	4歳児	5歳児	合計	%
ア なし	2	1	3	0.8%
イ 1~10冊	27	46	73	18.5%
ウ 11~50冊	94	129	223	56.6%
エ 51~100冊	17	48	65	16.5%
オ 101冊以上	8	20	28	7.1%
無回答	0	2	2	0.5%
合計	148	246	394	100%

①11~50冊の家庭が年齢に関係なく多い。

2 家にある絵本は何冊ですか

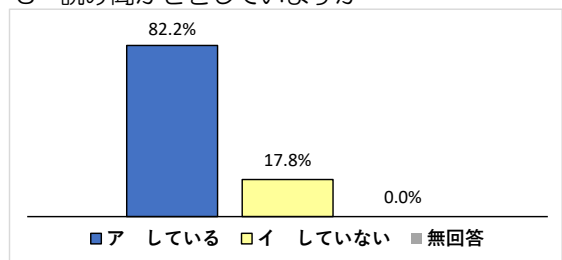


3 読み聞かせをしていますか

	4歳児	5歳児	合計	%
ア している	125	199	324	82.2%
イ していない	23	47	70	17.8%
無回答	0	0	0	0.0%
合計	148	246	394	100%

①82.2%の家庭で実施。

3 読み聞かせをしていますか

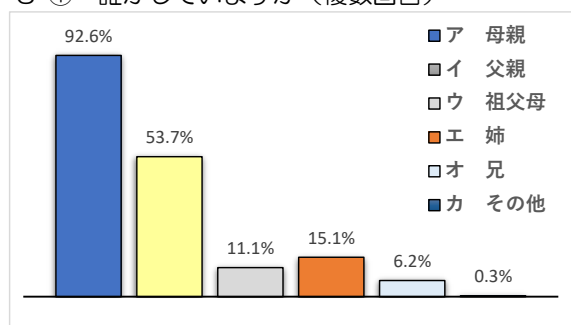


3-① 誰がしていますか(複数回答)

	4歳児	5歳児	合計	%
ア 母親	121	179	300	92.6%
イ 父親	65	109	174	53.7%
ウ 祖父母	17	19	36	11.1%
エ 姉	29	20	49	15.1%
オ 兄	7	13	20	6.2%
カ その他	1	0	1	0.3%
無回答	1	1	2	0.6%
合計	241	341	582	

①読み聞かせをしていると回答した家庭の9割以上で母親が実施している。
②その他は、「おば」など。

3-① 誰がしていますか(複数回答)

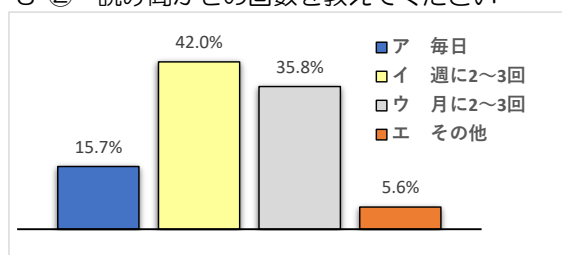


3-② 読み聞かせの回数を教えてください

	4歳児	5歳児	合計	%
ア 毎日	18	33	51	15.7%
イ 週に2~3回	49	87	136	42.0%
ウ 月に2~3回	51	65	116	35.8%
エ その他	6	12	18	5.6%
無回答	1	2	3	0.9%
合計	125	199	324	100%

①週2~3回が42.0%で最も多い。

3-② 読み聞かせの回数を教えてください

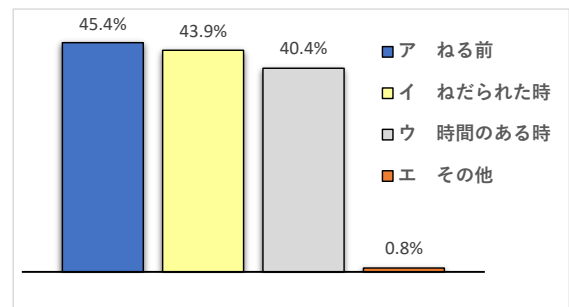


3-③ どんな時にしていますか(複数回答)

	4歳児	5歳児	合計	%
ア ねる前	61	118	179	45.4%
イ ねだられた時	75	98	173	43.9%
ウ 時間のある時	64	95	159	40.4%
エ その他	1	2	3	0.8%
無回答	0	0	0	0.0%
合計	201	313	514	

- ①「ねる前」に読み聞かせをするという回答が最も多い。
②その他は「お家に帰ってきた時」など

3-③ どんな時にしていますか(複数回答)

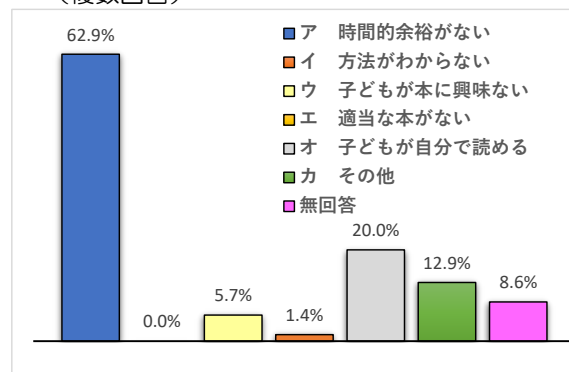


※「イ していない」理由について教えてください(複数回答)

	4歳児	5歳児	合計	%
ア 時間的余裕がない	15	29	44	62.9%
イ 方法がわからない	0	0	0	0.0%
ウ 子どもが本に興味ない	0	4	4	5.7%
エ 適当な本がない	1	0	1	1.4%
オ 子どもが自分で読める	1	13	14	20.0%
カ その他	2	7	9	12.9%
無回答	4	2	6	8.6%
合計	23	55	78	

- ①していないと回答した保護者のうち「時間的余裕がない」が62.9%と最も多い。
②その他の理由では「本人が自分で声を出して音読するのが好きだから」、「他のことに興味がある」などが多かった。

※「イ していない」理由について教えてください(複数回答)

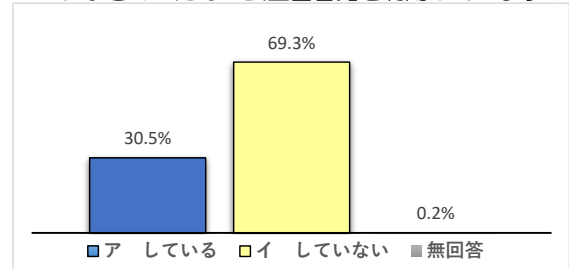


4 お子さんのために公立図書館を利用していますか

	4歳児	5歳児	合計	%
ア している	39	81	120	30.5%
イ していない	108	165	273	69.3%
無回答	1	0	1	0.2%
合計	148	246	394	100%

- ①約7割が公立図書館を利用していない。

4 お子さんのために公立図書館を利用していますか

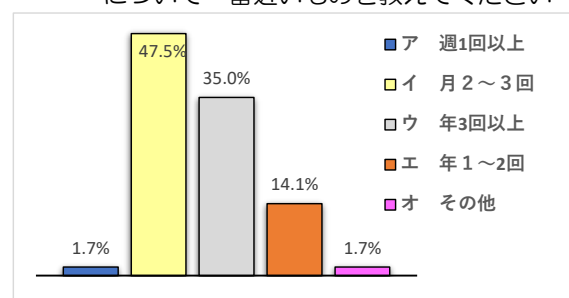


4-① お子さんのための公立図書館の利用頻度について一番近いものを教えてください

	4歳児	5歳児	合計	%
ア 週1回以上	1	1	2	1.7%
イ 月2~3回	18	39	57	47.5%
ウ 年3回以上	12	30	42	35.0%
エ 年1~2回	7	10	17	14.1%
オ その他	1	1	2	1.7%
無回答	0	0	0	0.0%
合計	39	81	120	100%

- ①利用している30.5%のうち、月2~3回の利用が約半数。

4-① お子さんのための公立図書館の利用頻度について一番近いものを教えてください

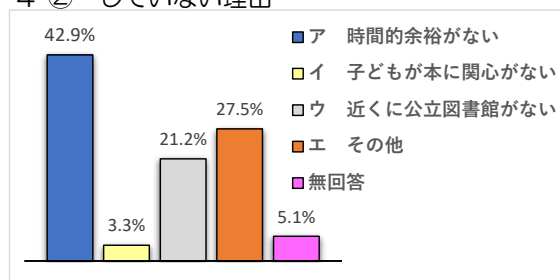


4-② していない理由

	4歳児	5歳児	合計	%
ア 時間的余裕がない	47	70	117	42.9%
イ 子どもが本に関心がない	4	5	9	3.3%
ウ 近くに公立図書館がない	23	35	58	21.2%
エ その他	28	47	75	27.5%
無回答	6	8	14	5.1%
合計	108	165	273	100%

- ①利用していない理由として「時間的余裕がない」が42.9%と最も多い。
 ②その他の理由では、「本を破いてしまう可能性があるため」、「お家と園からの本で充分」などの回答がある。

4-② していない理由

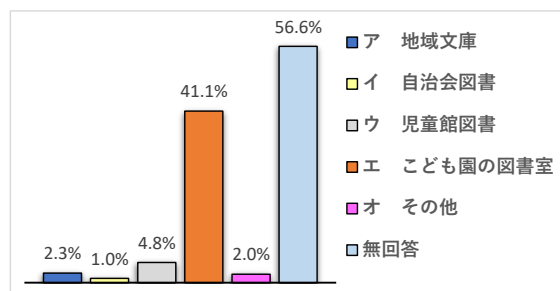


5 公立図書館以外に利用されている施設を教えてください(複数回答)

	4歳児	5歳児	合計	%
ア 地域文庫	2	7	9	2.3%
イ 自治会図書	0	4	4	1.0%
ウ 児童館図書	8	11	19	4.8%
エ こども園の図書室	61	101	162	41.1%
オ その他	3	5	8	2.0%
無回答	98	125	223	56.6%
合計	172	253	425	

- ①通っている「こども園の図書室」が最も多い。

5 公立図書館以外に利用されている施設を教えてください(複数回答)



6.その他意見

【図書館について】

- ・図書館よく利用させてもらってます。子どもたちは、楽しそうに本を選ぶことができ助かってます。
- ・日頃から読書の習慣がつくようにより心がけたいです。図書館の駐車場が増えると利用しやすくなり、いいなと思います。
- ・銘刻に公立図書館を作ってほしい。
- ・市立図書館は車での利用がもっとしやすくなって欲しいです。
- ・新都心に図書館を作ってほしい。移動図書館をやってほしい。新都心・安謝を巡回してほしい。
- ・図書館で借りることはできて、返却が大変なので返却ポストが近くにあると利用しやすくなると感じました。
- ・新都心近辺、那覇市民協働プラザ等にも図書館があると嬉しいです。
- ・近くに子どもたちだけでも行ける図書館があればいいなと思います。
- ・那覇市の公立図書館は市立図書館内での本の取り寄せ、予約がネットで簡単にできますし、返却ポスト、冊数制限なしなど本当に助かってます。多くの方が利用されるといいですね。いつもありがとうございます。
- ・コロナのこともあり、図書館で本を借りることに今は不安があります。
- ・那覇市立の図書館ですが、もう少し明るく、カフェのようなおしゃれな感じを希望します。重い雰囲気があります。こどもコーナーを拡充してほしい！
- ・絵本、紙芝居共に大好きなので、自治会図書館(市立図書館)によく行きます。県立図書館のように子ども用の本を見れる広い空間もすてきだと思いますし、子どもがいない人、静かな空間で本を読みたい人とも少し物理的に距離があると小さな弟も気がねなく本に触れるるので、そういう空間がある図書館もあったらいいなと思います。
- ・首里図書館が近く、大変便利なので時々活用しています。園でも散歩がてらに行くと、その後保護者とも行きたがると思います。
- ・今回のアンケートで図書館の場所がわかったので、活用したいと思います。
- ・図書館を利用しています。絵本も多く、小さい子は楽しめていますが、小学生の子には少し物足りなさを感じることがあります。面積の狭さ等もありますが、本がもう少しあると嬉しいです。これからも利用します。いつもありがとうございます。

- 図書館を週末利用していますが、公民館利用の方の車の数が多すぎる為、駐車場に停められないことが多く不便。子連れでは、本も重たく車で利用できないと困ります。
- 本人よりもお姉ちゃんの本が好きで、一緒に図書館へ行ったり、読み聞かせをしますが、まだ集中して聞くことはあまりないので、これからどんどん好きになるといいなと思っています。
- ネットで絵本が借りられたり、自宅までの配送サービスなどあれば図書館を利用したいです。
- 初めての赤ちゃんの頃から図書館にお世話になってます。なんせ1日の時間をなんとか子供たちとすごさないといけない時に、絵本は超たすかる。私の育児お助けアイテムNo.1です。
毎週末ジャケット借りして毎回30冊くらい借りて、1週間気に入ったらリピ読み、ハマらなかつたら1回読んで返却といった生活をしてきました。冊数上限なく貸してくれること、予約システムで欲しい本も図書館に届いてて、我が家の救世主(館)です。感謝しかない。

【園について】

- 以前のように、こども園での保護者の読み聞かせの時間があるといいなと思います。

【その他】

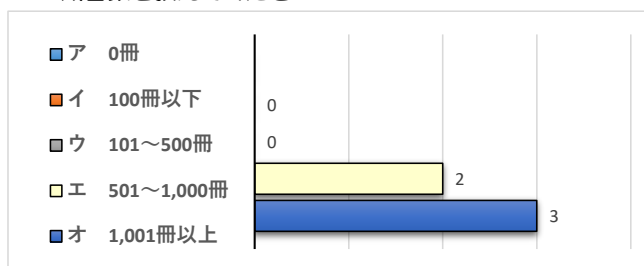
- コロナで神経質になり、絵本は購入して自宅で読みます。
- 希望としては政府が子どもの年齢にあった絵本を無償で配布して欲しいです。

1 蔵書数を教えてください

ア 0冊	0	0.0%
イ 100冊以下	0	0.0%
ウ 101～500冊	0	0.0%
エ 501～1,000冊	2	40.0%
オ 1,001冊以上	3	60.0%
無回答	0	0.0%
合計	5	100%

①すべてのみらいこども園で501冊以上の蔵書数がある。

1 蔵書数を教えてください

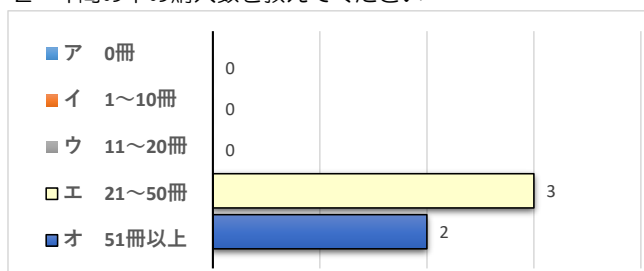


2 年間の本の購入数を教えてください

ア 0冊	0	0.0%
イ 1～10冊	0	0.0%
ウ 11～20冊	0	0.0%
エ 21～50冊	3	60.0%
オ 51冊以上	2	40.0%
無回答	0	0.0%
合計	5	100%

①すべてのみらいこども園が21冊以上購入している。

2 年間の本の購入数を教えてください

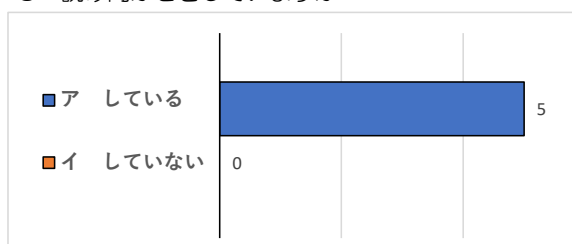


3 読み聞かせをしていますか

ア している	5	100.0%
イ していない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	5	100%

①すべてのみらいこども園で読み聞かせをしている。

3 読み聞かせをしていますか

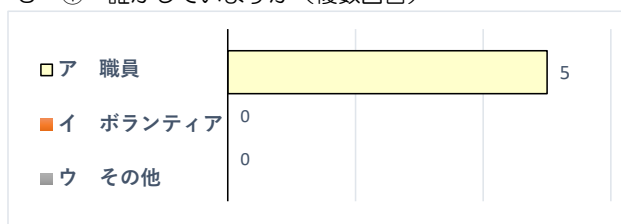


3-① 誰がしていますか（複数回答）

ア 職員	5	100.0%
イ ボランティア	0	0.0%
ウ その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	5	

①すべてのみらいこども園で職員が読み聞かせしている。

3-① 誰がしていますか（複数回答）

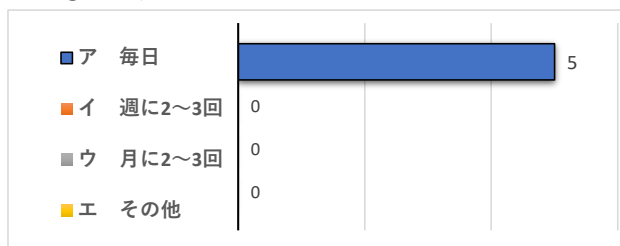


3-② 読み聞かせの回数を教えてください

ア 毎日	5	100.0%
イ 週に2～3回	0	0.0%
ウ 月に2～3回	0	0.0%
エ その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	5	100%

①すべてのみらいこども園で毎日読み聞かせをしている。

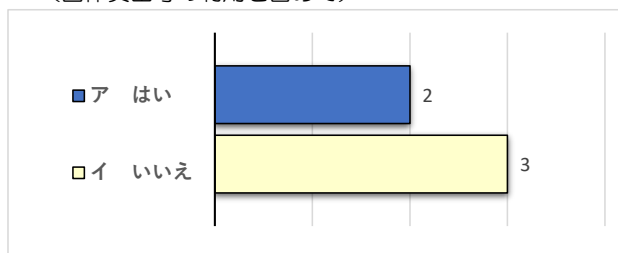
3-② 読み聞かせの回数を教えてください



4 公立の図書館と連携していますか
(団体貸出等の利用を含めて)

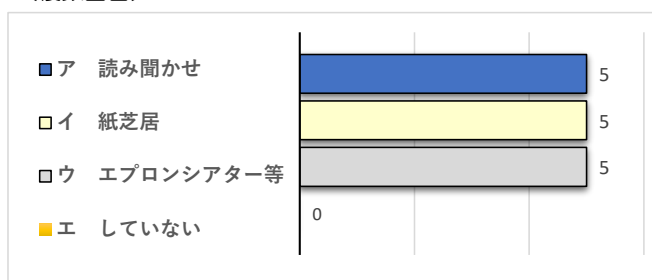
ア はい	2	40.0%
イ いいえ	3	60.0%
無回答	0	0.0%
合計	5	100%

①5園中2園のみ団体貸出を利用している。

4 公立の図書館と連携していますか
(団体貸出等の利用を含めて)5 読書の推進のための事業を実施されていますか
(複数回答)

ア 読み聞かせ	5	100.0%
イ 紙芝居	5	100.0%
ウ エプロンシアター	5	100.0%
エ していない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	15	

①全てのみらいこども園で、読み聞かせ、紙芝居、エプロンシアター等を利用している。

5 読書の推進のための事業を実施されていますか
(複数回答)

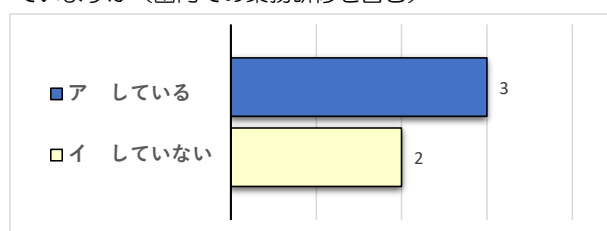
6 読み聞かせ等に関する職員研修を実施していますか(園内での業務研修を含む)

ア している	3	60.0%
イ していない	2	40.0%
無回答	0	0.0%
合計	5	100%

①3園のみ実施している。

②研修をしていないみらいこども園ではコロナ禍で研修体制を構築するのが難しかったと回答。

6 読み聞かせ等に関する職員研修を実施していますか(園内での業務研修を含む)



6 その他意見

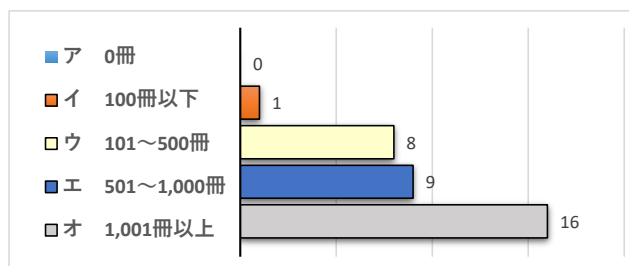
- 感染症拡大防止のため、保護者による絵本の読み聞かせ(ボランティア)を現在行っていない。毎週、貸出は行っているが、絵本を通して、親子で楽しいひとときとなるよう、絵本の魅力を伝えるなど知識や発信力を高めていきたいと思う。
- 市立図書館の団体貸出を利用することで、子どもたちが沢山の本に触れることができた。

1 蔵書数を教えてください

ア 0冊	0	0.0%
イ 100冊以下	1	2.9%
ウ 101～500冊	8	23.5%
エ 501～1,000冊	9	26.5%
オ 1,001冊以上	16	47.1%
無回答	0	0.0%
合計	34	100%

①約半数のこども園で1,001冊以上の蔵書がある。

1 蔵書数を教えてください

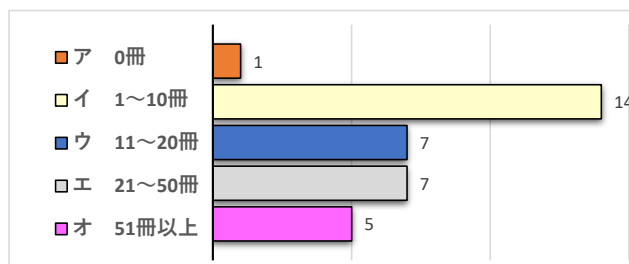


2 年間の本の購入数を教えてください

ア 0冊	1	2.9%
イ 1～10冊	14	41.2%
ウ 11～20冊	7	20.6%
エ 21～50冊	7	20.6%
オ 51冊以上	5	14.7%
無回答	0	0.0%
合計	34	100%

①1～10冊と回答した園が14か所あり、最も多い。

2 年間の本の購入数を教えてください



3 読み聞かせをしていますか

ア している	34	100.0%
イ していない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	34	100%

①すべてのこども園で読み聞かせを実施している。

3 読み聞かせをしていますか

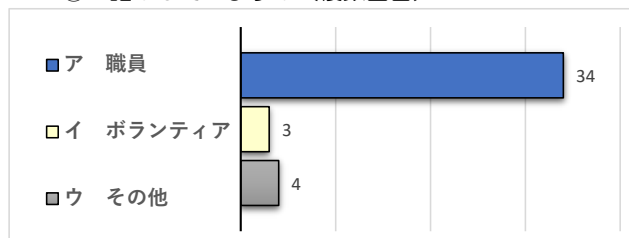


3-① 誰がしていますか（複数回答）

ア 職員	34	100.0%
イ ボランティア	3	8.8%
ウ その他	4	11.8%
無回答	0	0.0%
合計	41	

①全ての園で職員が読み聞かせを実施。
②その他では、保護者や近隣の小学生、実習生などの回答があった。

3-① 誰がしていますか（複数回答）

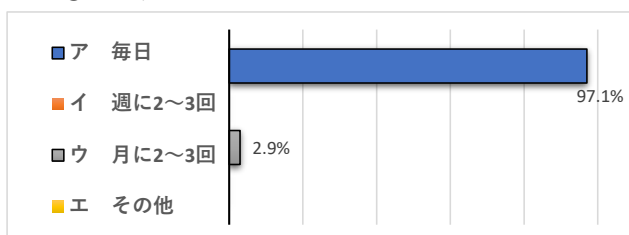


3-② 読み聞かせの回数を教えてください

ア 毎日	33	97.1%
イ 週に2～3回	0	0.0%
ウ 月に2～3回	1	2.9%
エ その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	34	100%

①1園を除いては毎日実施している。

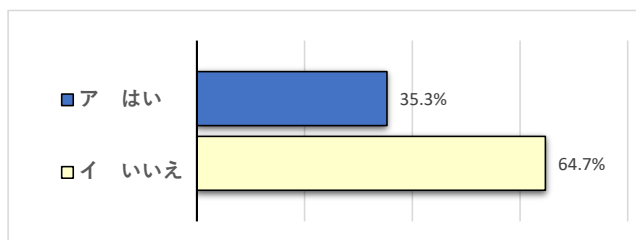
3-② 読み聞かせの回数を教えてください



4 公立の図書館と連携していますか
(団体貸出等の利用を含めて)

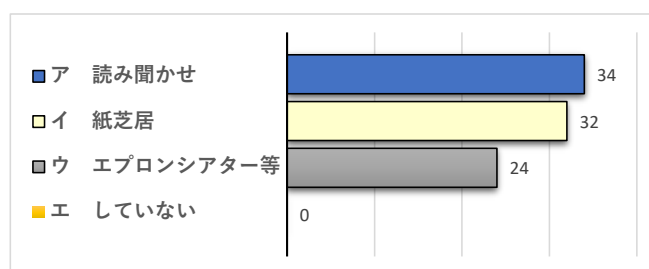
ア はい	12	35.3%
イ いいえ	22	64.7%
無回答	0	0.0%
合計	34	100%

- ①半数以上の22園が連携していない。
②連携していない理由として、「歩いて行ける距離ではないため」、「時間的余裕がないため」という回答が多い。

4 公立の図書館と連携していますか
(団体貸出等の利用を含めて)5 読書の推進のための事業を実施されていますか
(複数回答)

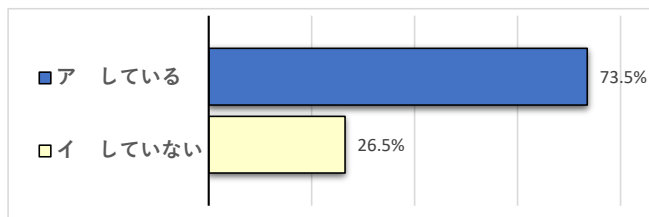
ア 読み聞かせ	34	100.0%
イ 紙芝居	32	94.1%
ウ エプロンシアター等	24	70.6%
エ していない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	90	

- ①9割以上の園で読み聞かせ、紙芝居を実施。
②7割の園ではエプロンシアター等も実施。

5 読書の推進のための事業を実施されていますか
(複数回答)6 読み聞かせ等に関する職員研修を実施していますか
(園内での業務研修を含む)

ア している	25	73.5%
イ していない	9	26.5%
無回答	0	0.0%
合計	34	100%

- ①7割以上の園が研修をしていると回答。
②「普段読み聞かせをしているので、あえて研修を行っていない」、「行政主催の絵本に関する研修会等があれば参加したい」という回答が多かった。

6 読み聞かせ等に関する職員研修を実施していますか
(園内での業務研修を含む)

6 その他意見

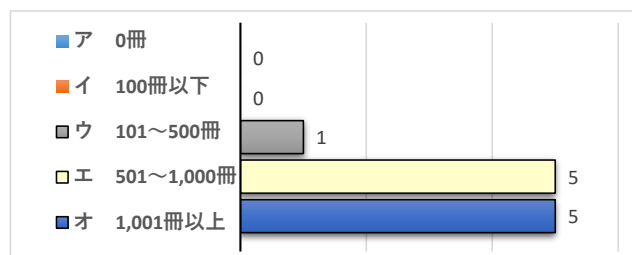
- ・感染症拡大防止のため、保護者による絵本の読み聞かせボランティアを現在行っていない。毎週、貸出を行っているが、絵本を通して、親子で楽しいひとときとなるよう、絵本の魅力を伝えるなど知識や発信力を高めていきたいと思う。
- ・行政主催の絵本に関する研修会等があれば、ぜひ拝聴してみたいです。
- ・感染症対策をとりながら感染状況を見て、絵本の貸し出しを行い絵本に親しみを持てるよう取り組んでいる。
- ・計画している外部からの読み聞かせ等は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、見合わせている。
- ・公立図書館の団体貸出も登録して利用していきたいのですが、選書をするために図書館に時間内にかがうことが厳しいため、現在は職員個人の利用となっています。団体貸出が図書館で選書してもらシステムがあればいいかと思います。また、ネットでの選書等ができれば利用が広がると思います。
- ・団体貸出を利用させていただいてますが、保育現場を離れて絵本や紙芝居を借りに行く職員と時間の確保が難しいので、現場から直接PCで貸し出し、搬入出ができるシステムになると利用しやすいと思います。
- ・コロナウイルス流行前は、例年保護者による読み聞かせ(週1回)、ボランティアによる読み聞かせ(週1回)を行っていますが、令和3年度も感染拡大予防のため実施できませんでした。

1 蔵書数を教えてください

ア 0冊	0	0.0%
イ 100冊以下	0	0.0%
ウ 101~500冊	1	9.0%
エ 501~1,000冊	5	45.5%
オ 1,001冊以上	5	45.5%
無回答	0	0.0%
合計	11	100%

①全児童館で101冊以上の蔵書数がある。

1 蔵書数を教えてください

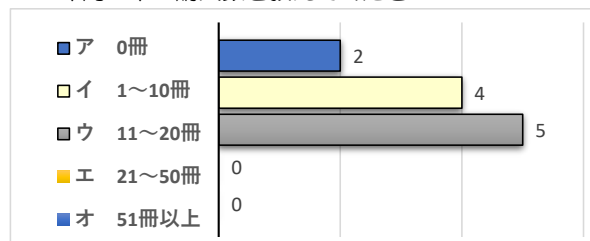


2 年間の本の購入数を教えてください

ア 0冊	2	18.1%
イ 1~10冊	4	36.4%
ウ 11~20冊	5	45.5%
エ 21~50冊	0	0.0%
オ 51冊以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	11	100%

①11~20冊が45.5%と最も多かった。

2 年間の本の購入数を教えてください

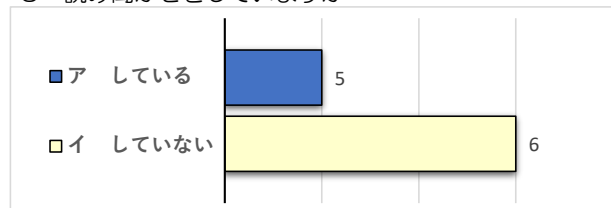


3 読み聞かせをしていますか

ア している	5	45.5%
イ していない	6	54.5%
無回答	0	0.0%
合計	11	100%

①5館が実施しているが、6館が実施していない。

3 読み聞かせをしていますか

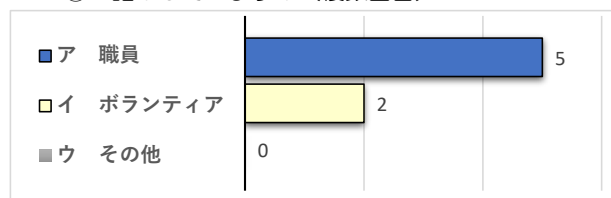


3-① 誰がしていますか(複数回答)

ア 職員	5	71.4%
イ ボランティア	2	28.6%
ウ その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	7	

①読み聞かせをしていると答えた全館で職員が実施。
②2館では、ボランティアによる読み聞かせも実施している。

3-① 誰がしていますか(複数回答)

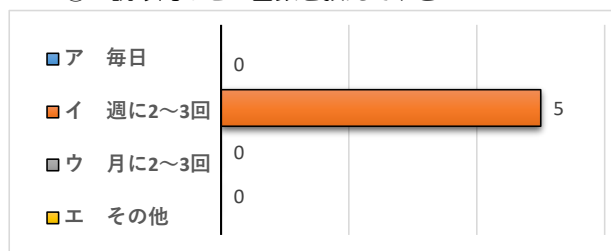


3-② 読み聞かせの回数を教えてください

ア 毎日	0	0.0%
イ 週に2~3回	5	100.0%
ウ 月に2~3回	0	0.0%
エ その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	5	100%

①読み聞かせを実施していると答えた全館が、週に2~3回の実施。

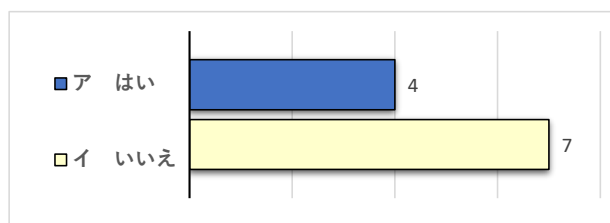
3-② 読み聞かせの回数を教えてください



4 公立の図書館と連携していますか
(団体貸出等の利用を含めて)

ア はい	4	36.4%
イ いいえ	7	63.6%
無回答	0	0.0%
合計	11	100%

①半数以上の7館が連携していない。

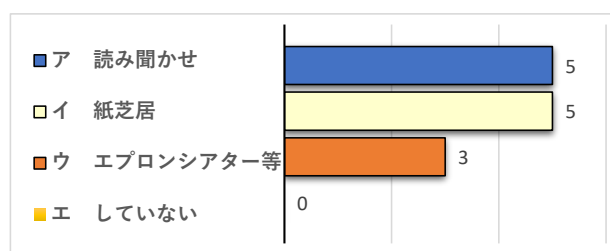
4 公立の図書館と連携していますか
(団体貸出等の利用を含めて)

5 読書の推進のための事業を実施されていますか(複数回答)

ア 読み聞かせ	5	14.7%
イ 紙芝居	5	14.7%
ウ エブロンシアター等	3	8.8%
エ していない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	13	

- ①5館で読み聞かせ、紙芝居を実施している。
②3館では、エブロンシアター等も活用している。

5 読書の推進のための事業を実施されていますか(複数回答)

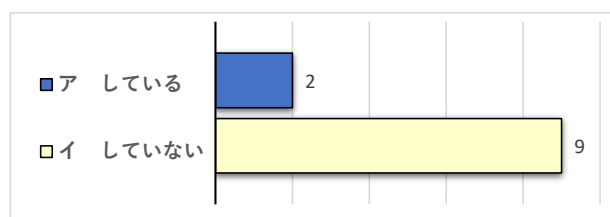


6 読み聞かせ等に関する職員研修を実施していますか(園内での業務研修を含む)

ア している	2	18.2%
イ していない	9	81.8%
無回答	0	0.0%
合計	11	100%

- ①2館のみ実施している。
②研修をしていない理由として、「機会がない」「必要性を感じない」という理由がある。

6 読み聞かせ等に関する職員研修を実施していますか(園内での業務研修を含む)



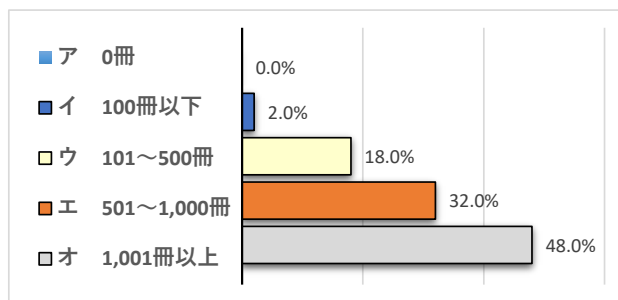
6 その他意見

- 令和3年度は漫画や小説等50冊ほど寄贈頂いています。漫画を楽しみに来館する小中学生も多いです。職員は近隣小学校の読み聞かせサークルに所属しており、コロナ前は読み聞かせボランティア活動も行っておりましたが令和3年度は活動がありませんでした。
- 読み聞かせなどに関する研修の情報があれば知りたいです。

1 蔵書数を教えてください

ア 0冊	0	0.0%
イ 100冊以下	1	2.0%
ウ 101～500冊	9	18.0%
エ 501～1,000冊	16	32.0%
オ 1,001冊以上	24	48.0%
無回答	0	0.0%
合計	50	100%

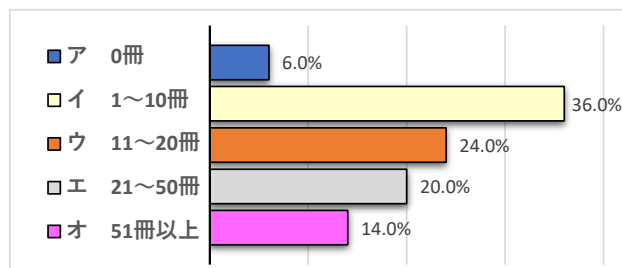
1 蔵書数を教えてください



2 年間の本の購入数を教えてください

ア 0冊	3	6.0%
イ 1～10冊	18	36.0%
ウ 11～20冊	12	24.0%
エ 21～50冊	10	20.0%
オ 51冊以上	7	14.0%
無回答	0	0.0%
合計	50	100%

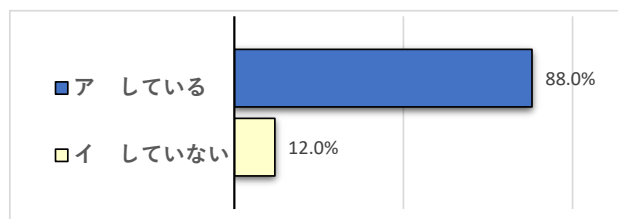
2 年間の本の購入数を教えてください



3 読み聞かせをしていますか

ア している	44	88.0%
イ していない	6	12.0%
無回答	0	0.0%
合計	50	100%

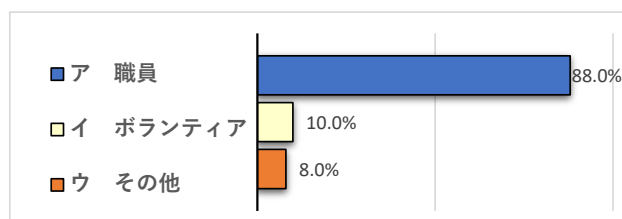
3 読み聞かせをしていますか



3-① 誰がしていますか(複数回答)

ア 職員	44	88.0%
イ ボランティア	5	10.0%
ウ その他	4	8.0%
無回答	0	0.0%
合計	53	

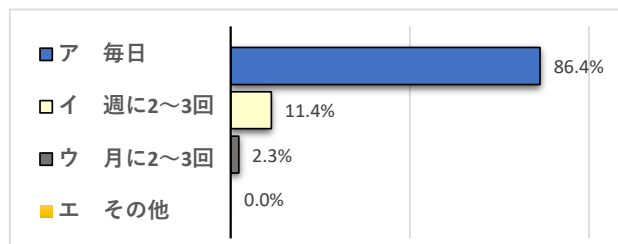
3-① 誰がしていますか(複数回答)



3-② 読み聞かせの回数を教えてください

ア 毎日	38	86.4%
イ 週に2～3回	5	11.4%
ウ 月に2～3回	1	2.3%
エ その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	44	100%

3-② 読み聞かせの回数を教えてください

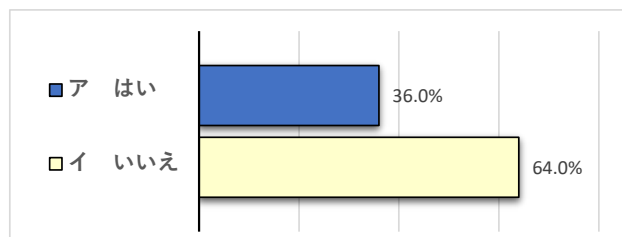


子どもの読書活動状況調査(施設④合計)

4 公立の図書館と連携していますか
(団体貸出等の利用を含めて)

ア はい	18	36.0%
イ いいえ	32	64.0%
無回答	0	0.0%
合計	50	100%

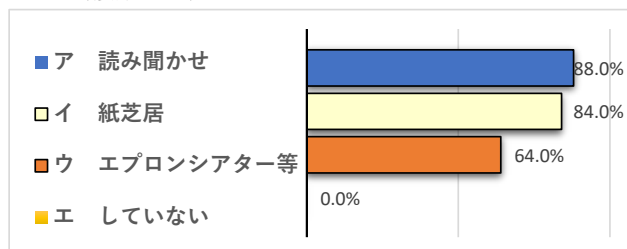
4 公立の図書館と連携していますか
(団体貸出等の利用を含めて)



5 読書の推進のための事業を実施されていますか(複数回答)

ア 読み聞かせ	44	88.0%
イ 紙芝居	42	84.0%
ウ エプロンシアター	32	64.0%
エ していない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	118	

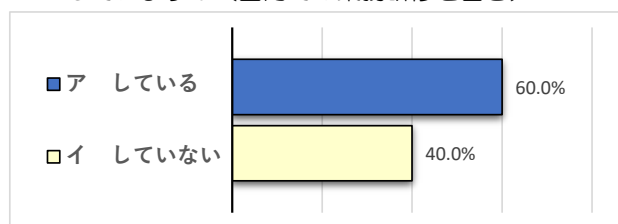
5 読書の推進のための事業を実施されていますか
(複数回答)



6 読み聞かせ等に関する職員研修を実施していますか(園内での業務研修を含む)

ア している	30	60.0%
イ していない	20	40.0%
無回答	0	0.0%
合計	50	100%

6 読み聞かせ等に関する職員研修を実施
していますか(園内での業務研修を含む)



那覇市子どもの読書活動推進委員会要綱

(平成 18 年 7 月 25 日生涯学習部長決裁)

(設置)

第 1 条 本市における子どもの読書活動を推進するため、那覇市子どもの読書活動推進委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 委員会は、那覇市における子どもの読書活動に関する次の事務を所掌する。

- (1) 那覇市子どもの読書活動推進計画(案)を策定し、教育長へ提出すること。
- (2) 推進方策及び連携・協力のあり方について研究・協議すること。
- (3) 市民への広報・啓発について協議すること。
- (4) 那覇市子どもの読書活動推進計画について検証・評価すること。
- (5) その他、読書活動推進に関し必要なこと。

(組織)

第 3 条 委員は、次の職にある者をもって構成する。

- (1) 生涯学習部生涯学習課長
- (2) 生涯学習部中央図書館長
- (3) 生涯学習部中央公民館長
- (4) 学校教育課学校教育課学校図書館担当指導主事
- (5) こどもみらい部こども教育保育課指導G主幹
- (6) 小学校校長(国語教育若しくは図書館教育に係る見識者)
- (7) 中学校校長(国語教育若しくは図書館教育に係る見識者)
- (8) 学校図書館司書

(委員長及び副委員長)

第 4 条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長に生涯学習課長、副委員長には中央図書館長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は、委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。

2 緊急その他委員長が必要と認める場合は、委員会を書面で開催することができる。

(部会)

第 6 条 委員長が必要と認めるときは、委員会に部会をおくことができる。

- (1) 部会に属する委員は、委員会の委員の中からまたはその他適当と認める者を委員長が指名する。
- (2) 部会に部会長を置き、委員長が指名する委員をもって充てる。

(意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、必要に応じて、広く意見を聴くことができる。

(事務局)

第 8 条 委員会の事務局は、教育委員会生涯学習部生涯学習課に置く。

(委任)

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営その他必要な事項は、委員長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成 18 年 7 月 25 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 20 年 11 月 18 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 23 年 12 月 26 日から施行する。

付 則

この要綱は、平成 28 年 6 月 17 日から施行する。

付 則

この要綱は、令和元年 8 月 5 日から施行する。

付 則

この要綱は、令和 4 年 1 月 12 日から施行する。

第4次那覇市子どもの読書活動推進計画の策定の過程

年月日	会議等の名称	審議事項等
令和4年 5月24日	第1回推進委員会	第3次那覇市計画の評価の確認 第3次那覇市計画策定スケジュールの確認
5月19日 ～6月17日	アンケート調査実施	施設アンケート こども園・保育園保護者アンケート
8月2日	第2回推進委員会	指標等設定について審議①
8月30日	第3回推進委員会	指標等設定について審議② 第4章「子どもの読書活動推進のための取組」
10月18日	第4回推進委員会	第1章～第5章についての審議
令和5年 1月18日	教育委員会会議	第4次那覇市子どもの読書活動推進計画（案）について協議
1月20日 ～2月21日	パブリックコメント	第4次那覇市子どもの読書活動推進計画（案）について市民意見を募集
2月1日	社会教育委員の会議	第4次那覇市子どもの読書活動推進計画（案）について意見聴取
4月5日	局議	第4次那覇市子どもの読書活動推進計画について（議案）
4月12日	教育委員会会議	第4次那覇市子どもの読書活動推進計画について（議案）

子どもの読書活動の推進に関する法律

平成13年12月12日

法律第154号

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下、「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。

○ 衆議院文部科学委員会における附帯決議

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

- 一 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。
- 二 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。
- 三 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことができる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。
- 四 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。
- 五 子どもの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。
- 六 国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日の趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

第4次那覇市子どもの読書活動推進計画

発行日 2023年4月

編集・発行 那覇市教育委員会生涯学習部生涯学習課

〒900-8553 沖縄県那覇市泉崎1丁目1番1号

TEL : 098-917-3502 FAX : 098-917-3521